

## 7. 災害対策について

### 問26 災害への備え

問26 あなたは現在、水や食料を買い置きしておく等、災害に対して何らかの備えを行っていますか？

1. はい

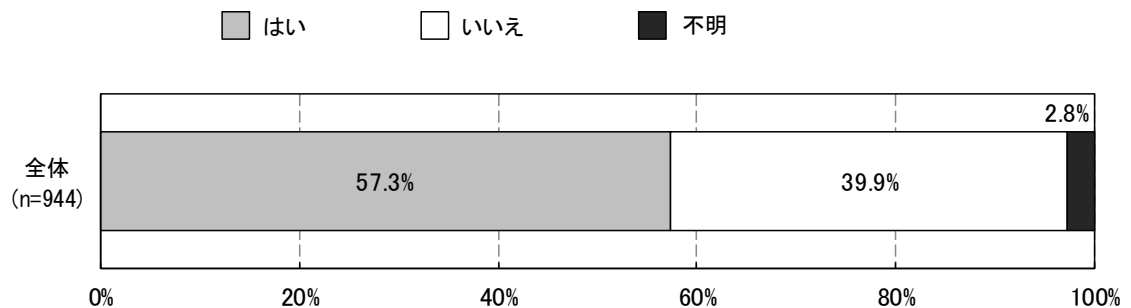
2. いいえ

災害に対して何らかの備えを行っているかに対して、「はい」と回答された方の割合は57.3%、「いいえ」と回答された方の割合は39.9%となった。

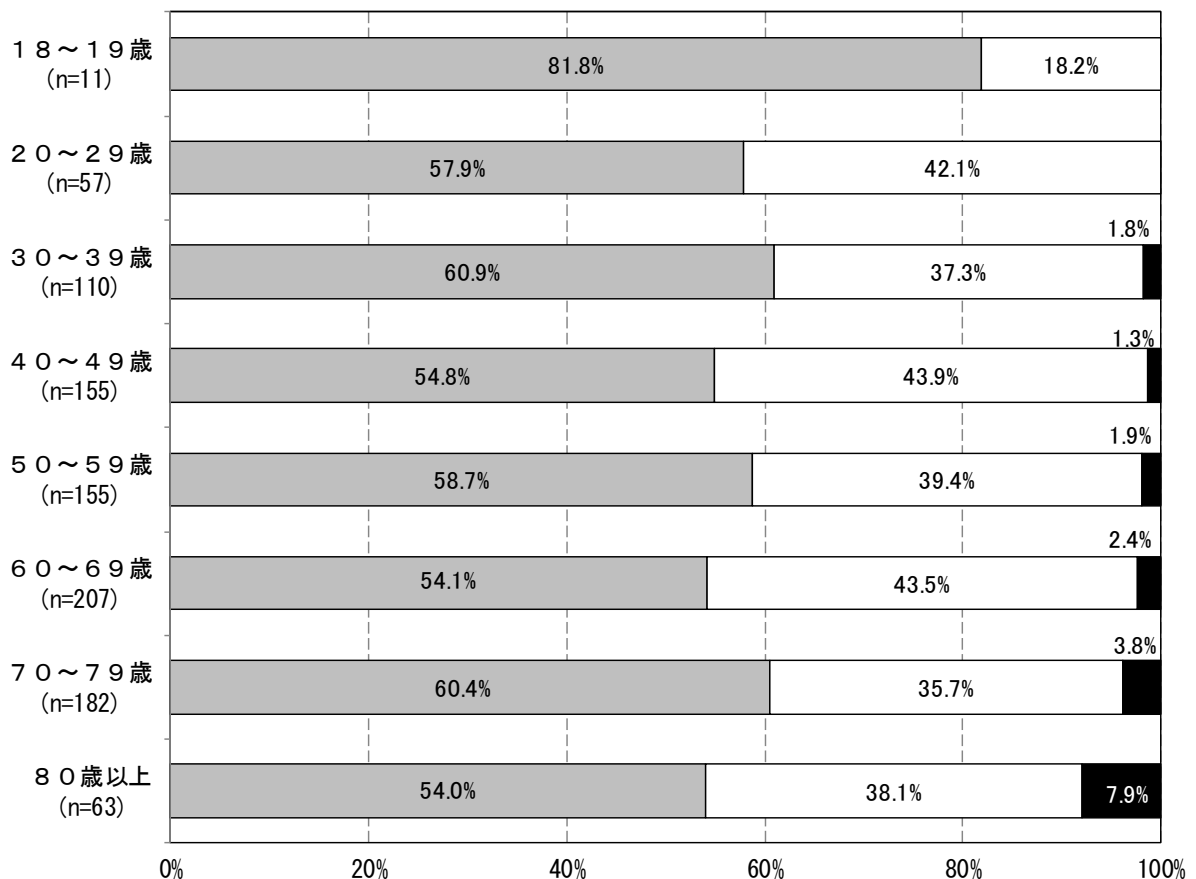
年代別にみると、いずれの年代も「はい」が半数を超えている。

地域別では、「はい」と回答された方の割合は「河西部」で49.1%、「河北部」で50.8%となったが、他の地域では60%を超える結果となった。

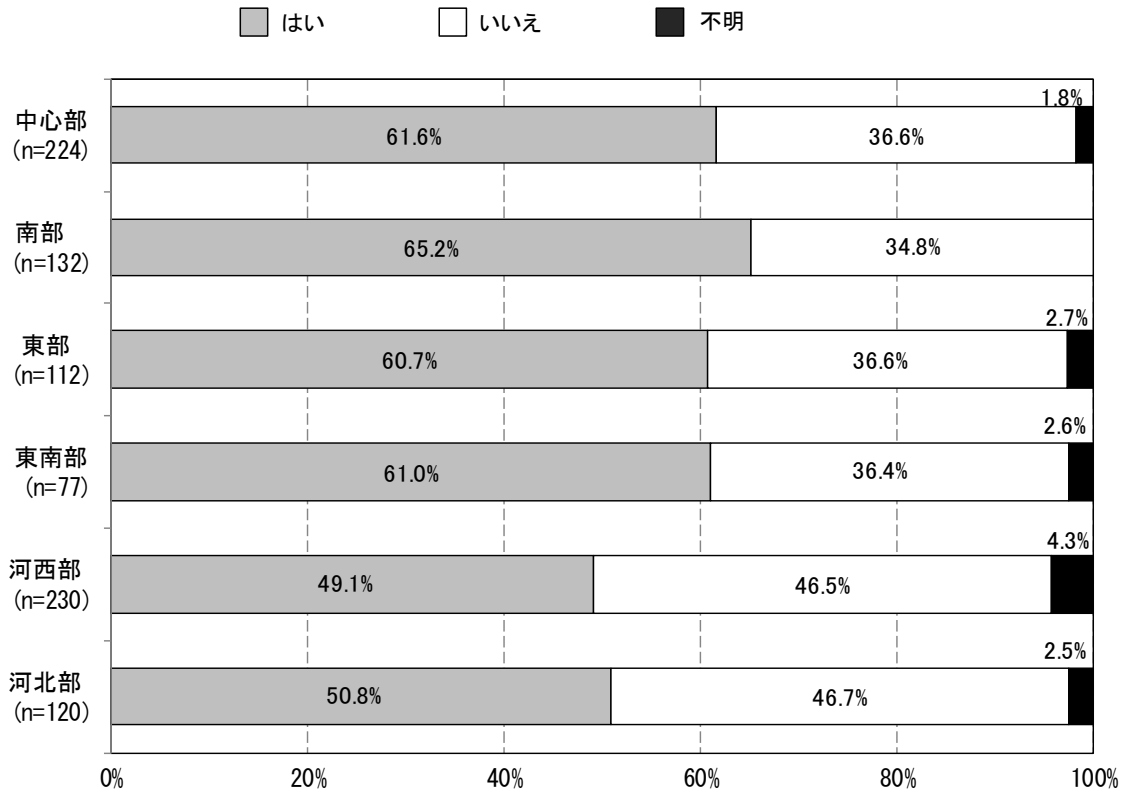
<全体>



<年代別>



<地域別>

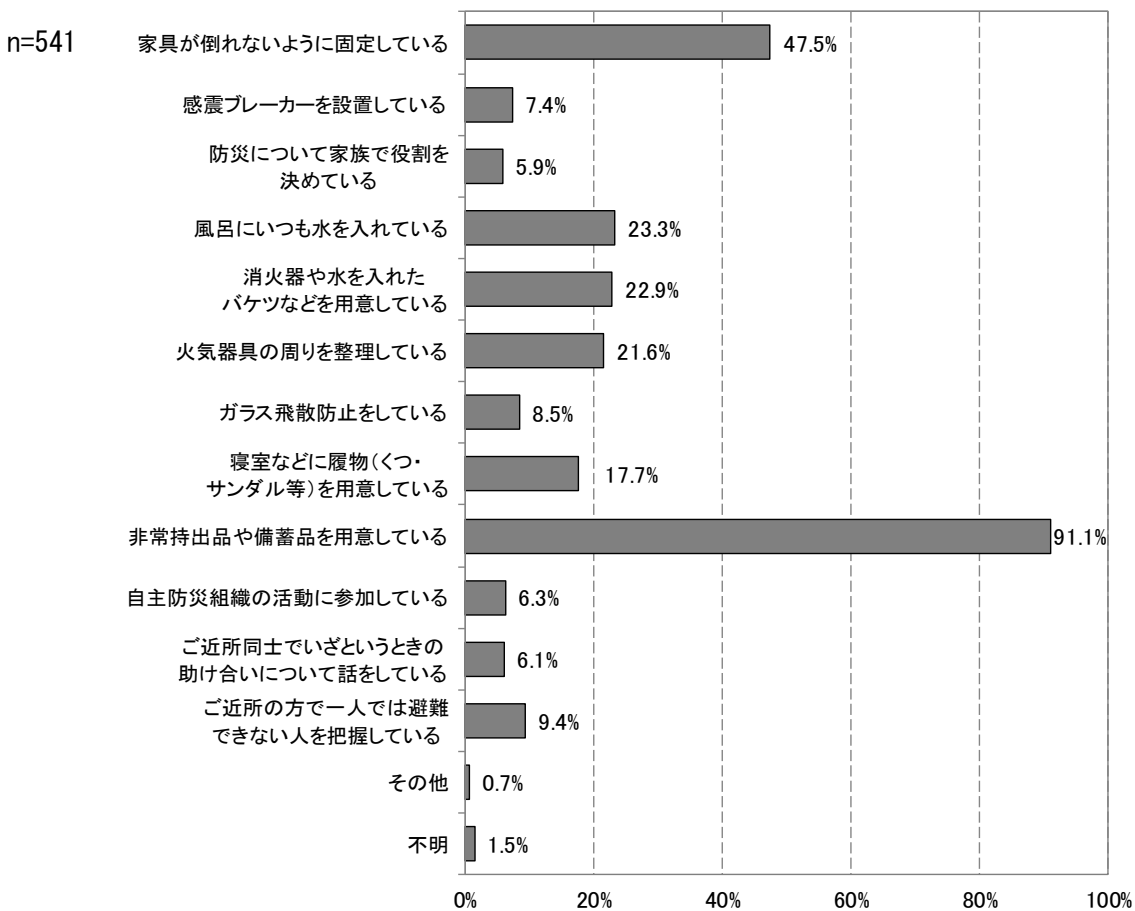


問26-1 災害に備えていること

問26-1 問26で「1. はい」と回答された方のみお答えください。災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 家具が倒れないように固定している
2. 感震ブレーカーを設置している
3. 防災について家族で役割を決めている
4. 風呂にいつも水を入れている
5. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している
6. 火気器具の周りを整理している
7. ガラス飛散防止をしている
8. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）を用意している
9. 非常持出品や備蓄品を用意している
10. 自主防災組織の活動に参加している
11. ご近所同士でいざというときの助け合いについて話をしている
12. ご近所の方で一人では避難できない人を把握している
13. その他

災害に備えていることで、最も多かったのが「非常持出品や備蓄品を用意している」でその割合は91.1%となった。次いで「家具が倒れないように固定している」で47.5%、「風呂にいつも水を入れている」で23.3%と続いた。



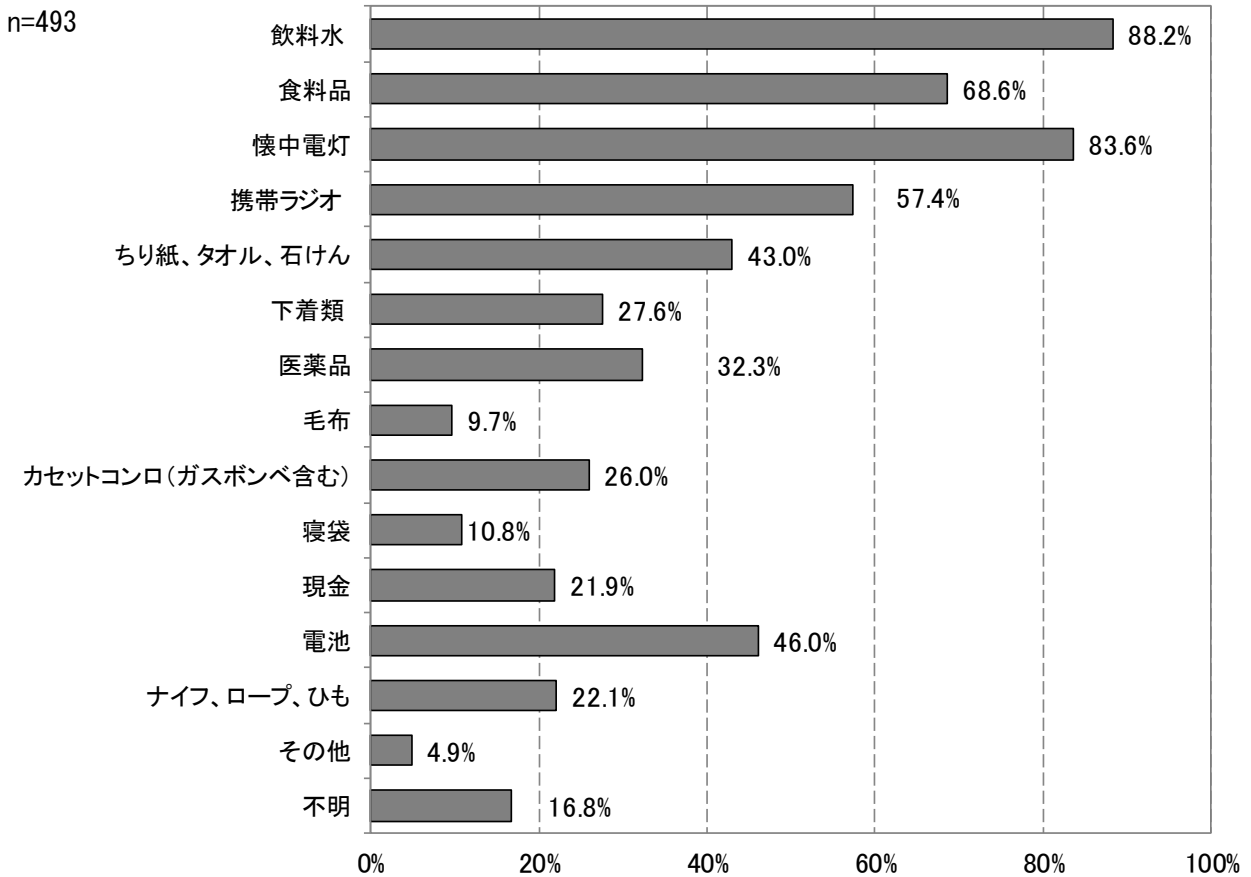
その他：「非常食、物資の準備」、「車にガソリンを頻繁にいれる」、「寝室に家具は置かない」など

問26-2 災害に備えているもの

問26-2 問26-1で「9. 非常持出品や備蓄品を用意している」と回答された方のみお答えください。非常持出品や備蓄品としてどのようなものを用意していますか？あてはまるものを全てお選びください。

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1. 飲料水         | 8. 毛布               |
| 2. 食料品         | 9. カセットコンロ（ガスボンベ含む） |
| 3. 懐中電灯        | 10. 寝袋              |
| 4. 携帯ラジオ       | 11. 現金              |
| 5. ちり紙、タオル、石けん | 12. 電池              |
| 6. 下着類         | 13. ナイフ、ロープ、ひも      |
| 7. 医薬品         | 14. その他             |

非常持出品や備蓄品を用意している人の中で、最も多かったのが「飲料水」でその割合は88.2%となった。次いで、「懐中電灯」で83.6%、「食料品」で68.6%となった。



その他：「ラップ」、「ゴミ袋」、「防寒シート」、「トイレ」、「電源、充電機」など

## 問27 家具等の固定状況

### 問27 あなたは、家具等の固定をしていますか？

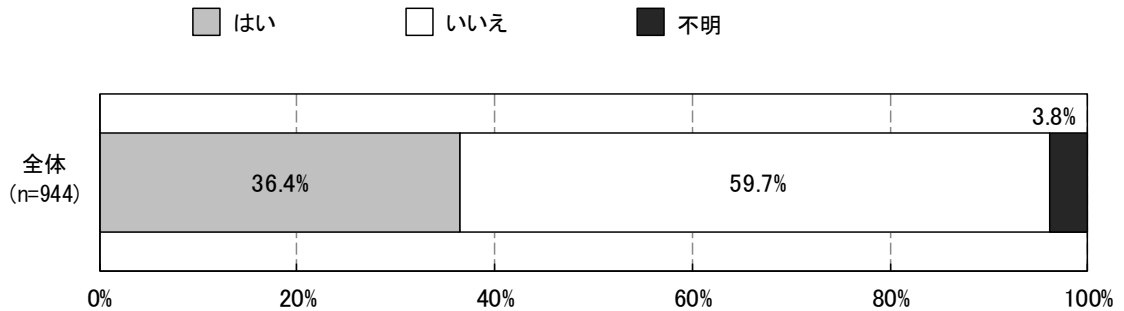
1. はい

2. いいえ

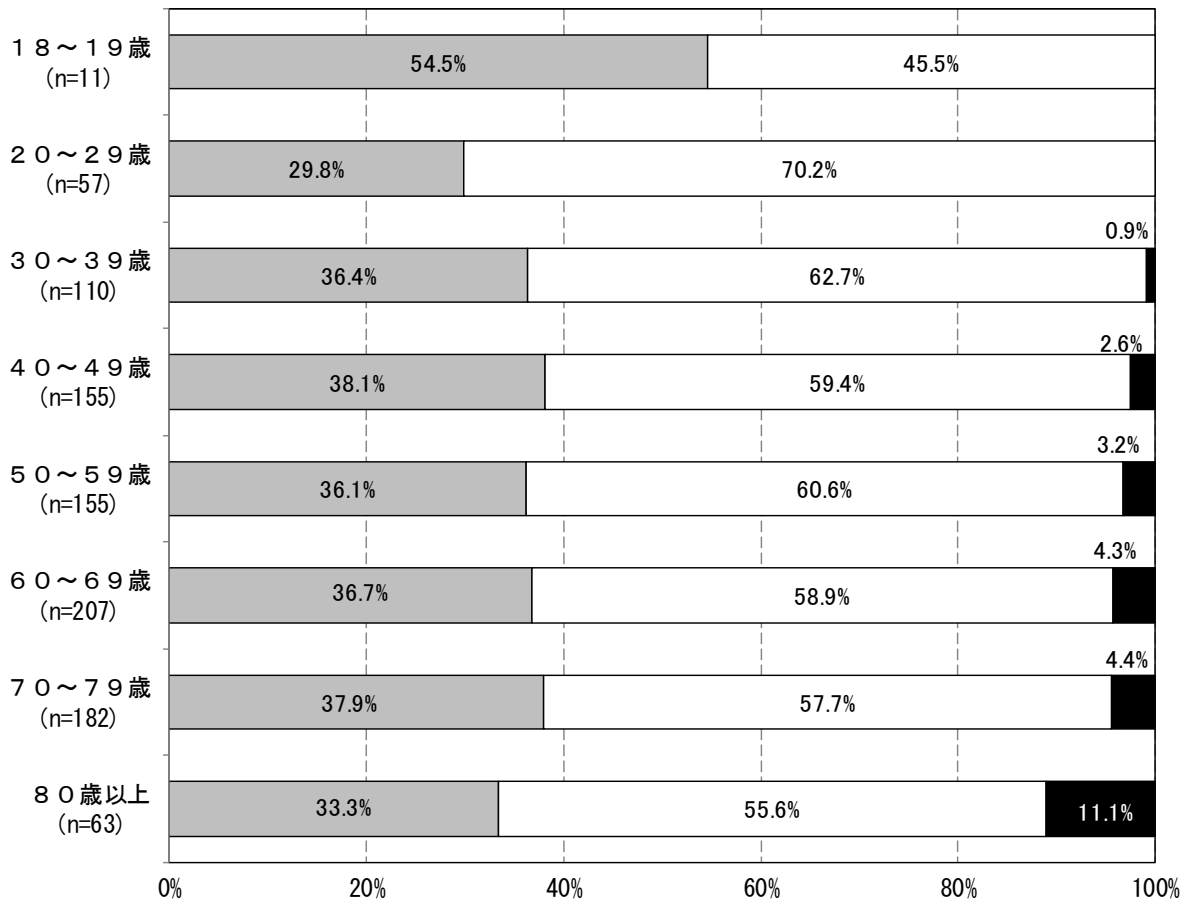
家具等を固定しているかどうかについて、「はい」と回答された方の割合は36.4%、「いいえ」と回答された方の割合は59.7%となった。

年代別では、「はい」と回答された割合が最も低かったのは「20～29歳」で29.8%、他の年代ではいずれも30%を超えている。

<全体>



<年代別>



## 問27-1 家具等を固定していない理由

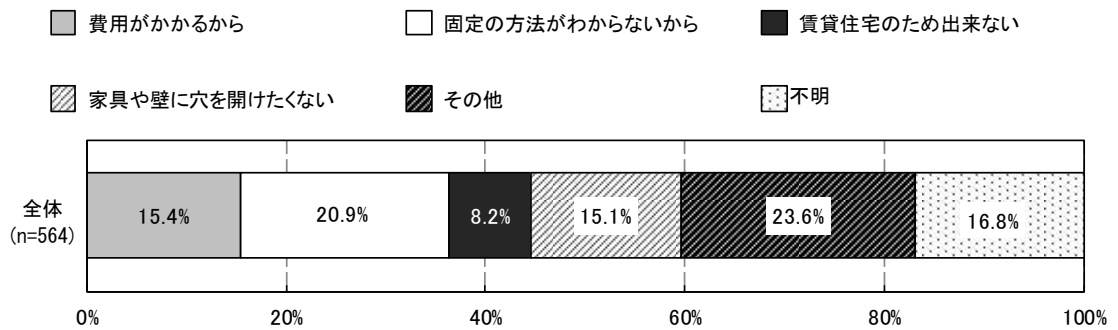
問27-1 問27で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。家具等の固定をしていない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 費用がかかるから
2. 固定の方法がわからないから
3. 賃貸住宅のため出来ない
4. 家具や壁に穴を開けたくない
5. その他

家具を固定していない理由として最も多かった回答が、「固定の方法がわからないから」でその割合は20.9%となった。次いで、「費用がかかるから」で15.4%、「家具や壁に穴を開けたくない」で15.1%と続いた。

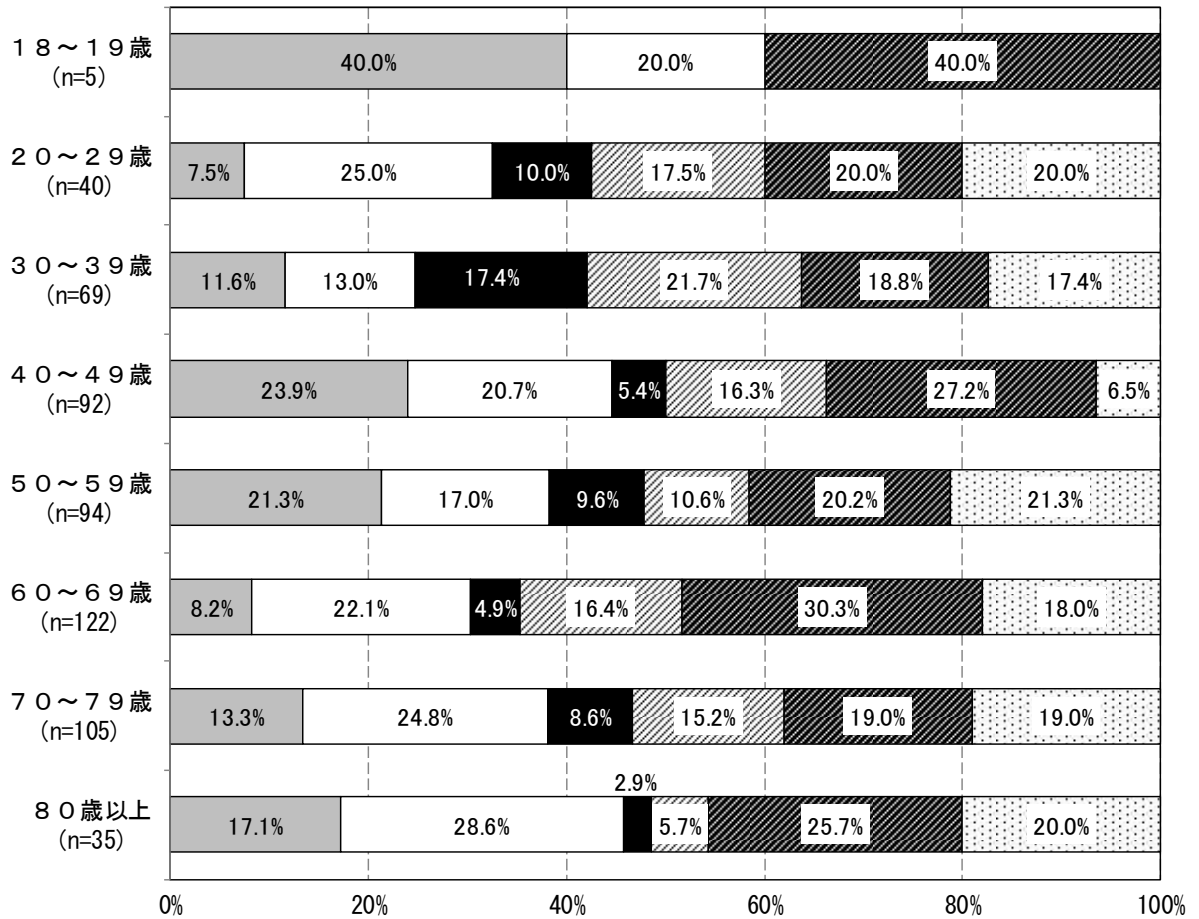
年代別では、「30～39歳」を除き、「固定の方法がわからないから」の割合が高くなっている。

<全体>



<年代別>

- 費用がかかるから
- 固定の方法がわからないから
- 賃貸住宅のため出来ない
  
- 家具や壁に穴を開けたくない
- その他
- 不明



その他：「大きい家具がない」、「固定したいがその気になれない」など

## 問 2 8 家具の転倒防止用固定金具取付事業の認知度

問 2 8 あなたは、和歌山市が65歳以上の方だけの世帯やいくつかの条件にあてはまる方を対象に家具の転倒防止用固定金具取付事業を行っていることを知っていますか？

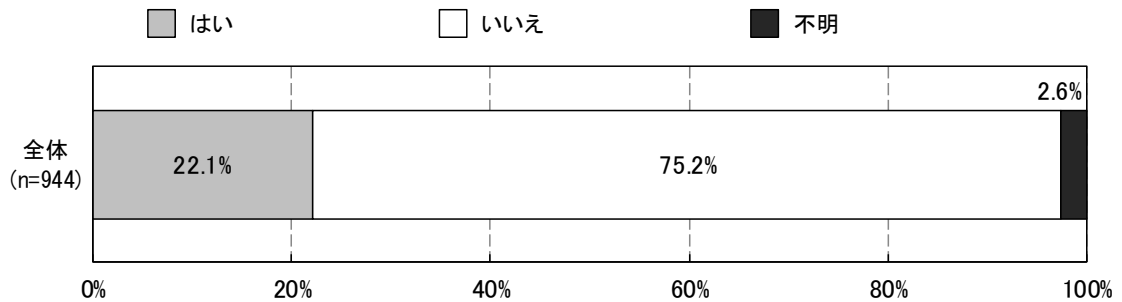
1. はい

2. いいえ

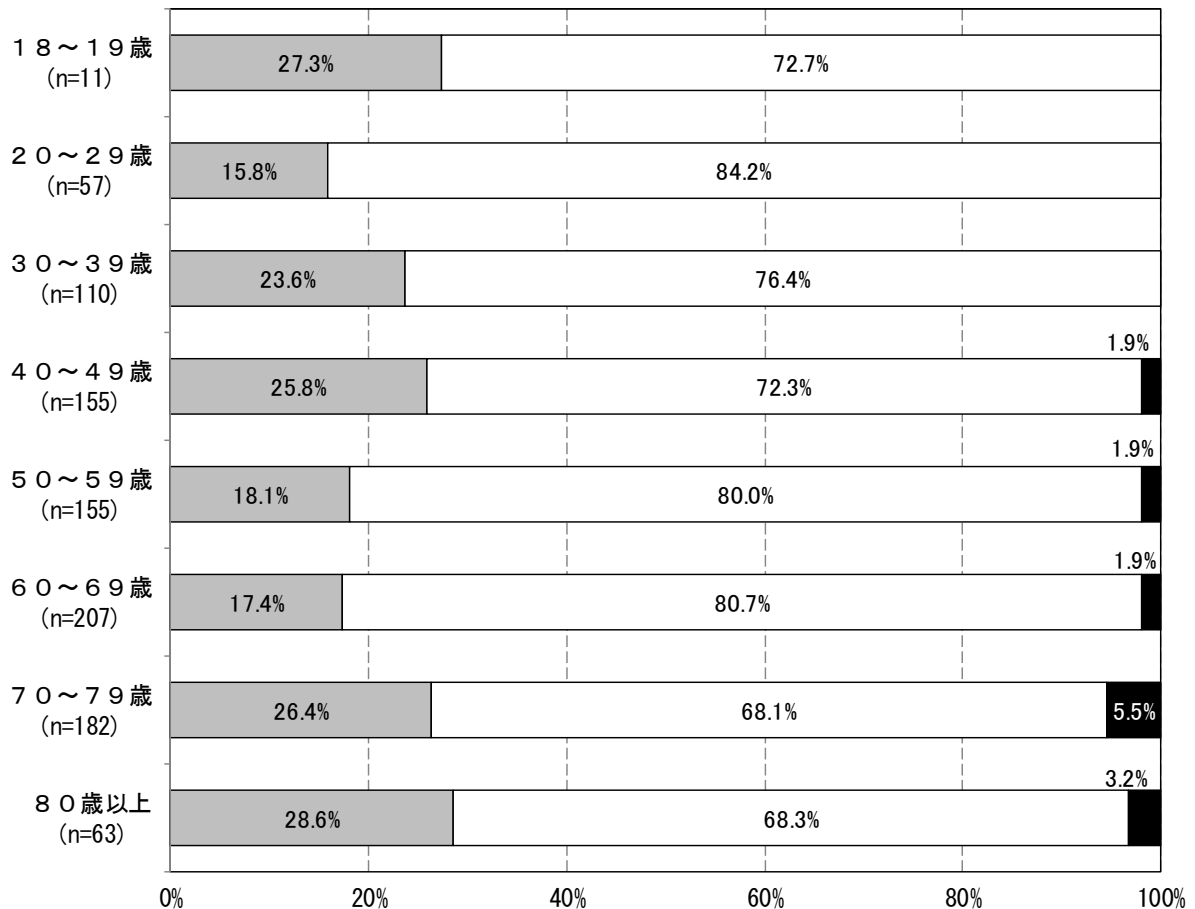
家具の転倒防止用固定金具取付事業を知っているかどうかについて、「はい」と回答された方の割合は22.1%、「いいえ」と回答された方の割合は75.2%となった。

年代別にみると、いずれの年代でも「いいえ」が60%を超えている。

<全体>



<年代別>





## 問28-1 家具の転倒防止用固定金具取付事業の利用について

問28-1 あなたは、問28の事業の対象であれば、利用したいと思いますか？

1. 思う

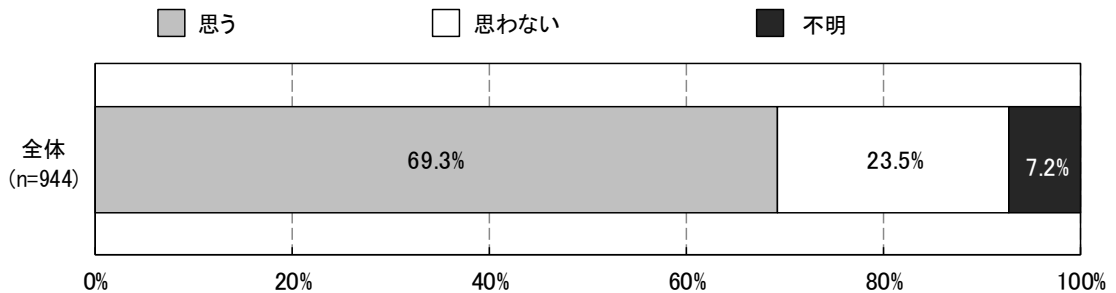
2. 思わない

家具の転倒防止用固定金具取付事業を利用したいかについて、「思う」と回答された方の割合は69.3%、「思わない」と回答された方の割合は23.5%となった。

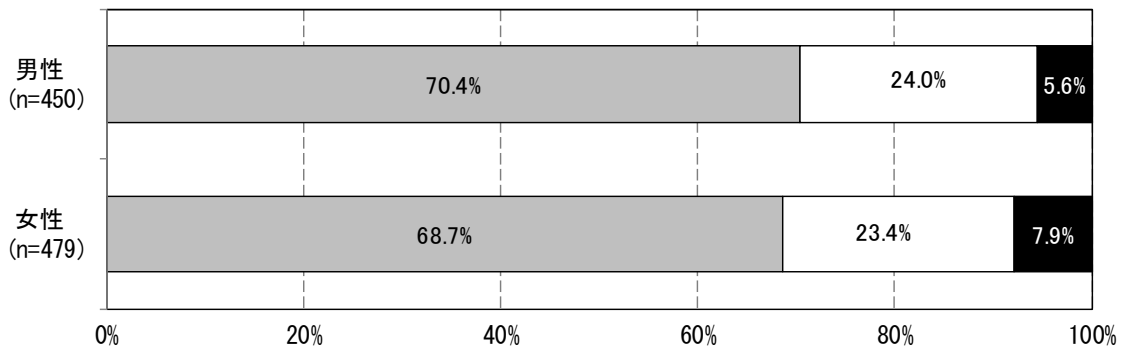
男女別では大きな差異は見られなかった。

年代別で見ると、18～59歳の年代で利用したいと「思う」と回答された方の割合は70%を超えたが、60歳以上の各年代では低めの傾向となった。

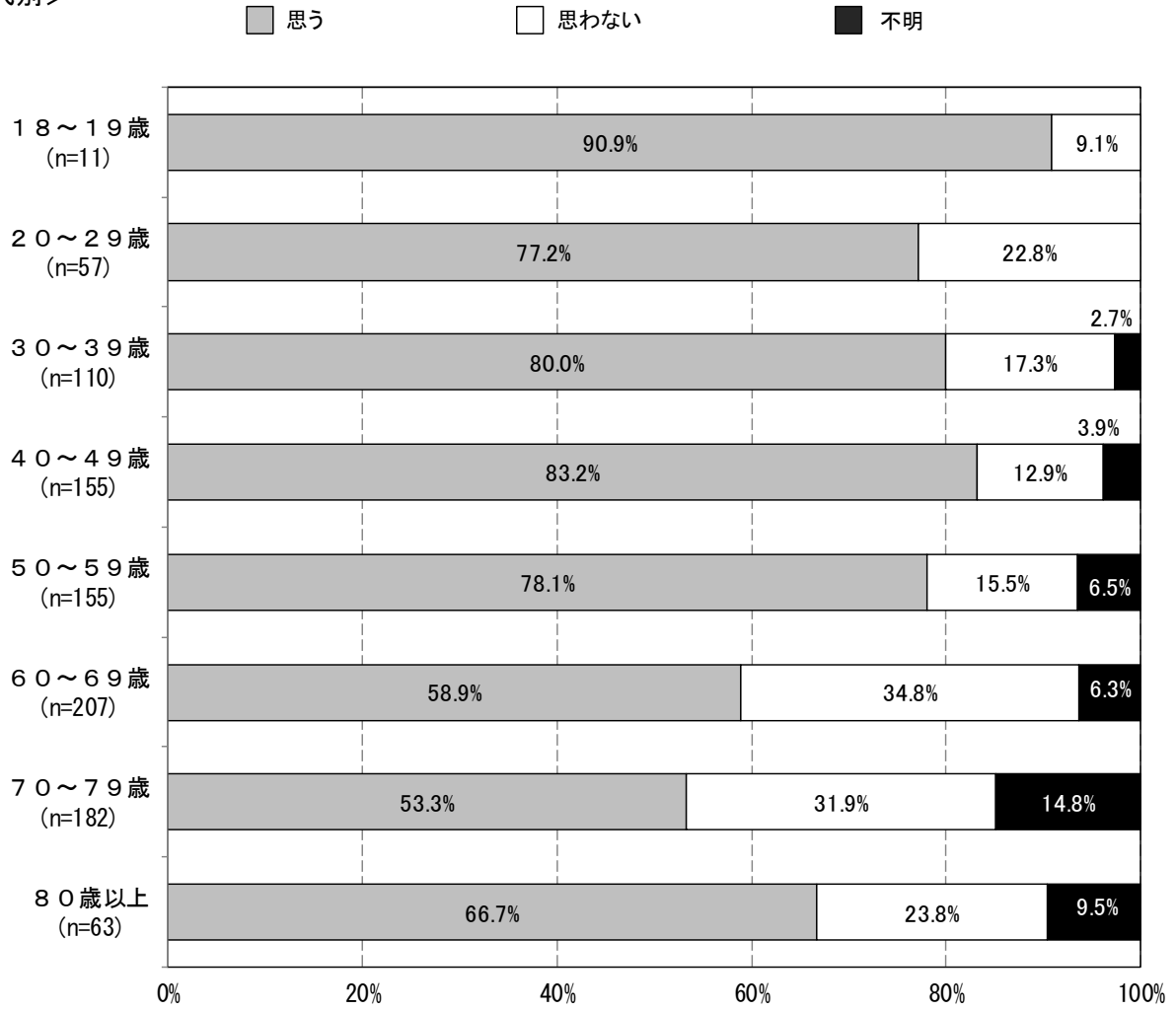
<全体>



<男女別>



<年代別>



## 問29 感震ブレーカーの認知度

問29 あなたは、地震が発生し揺れを感知した際に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動で止める「感震ブレーカー」を知っていますか？

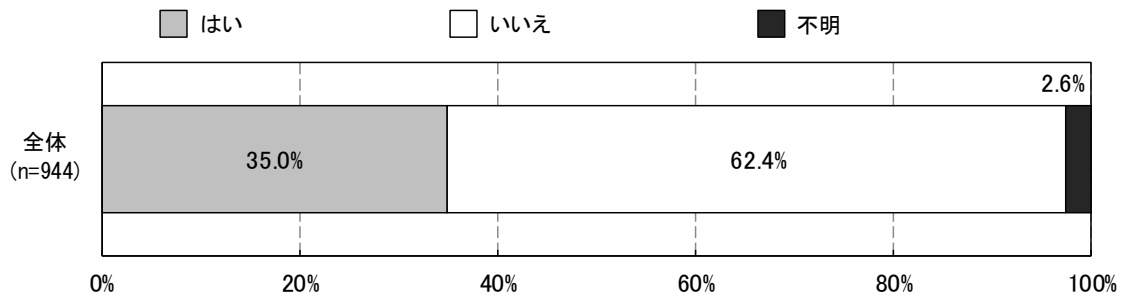
1. はい

2. いいえ

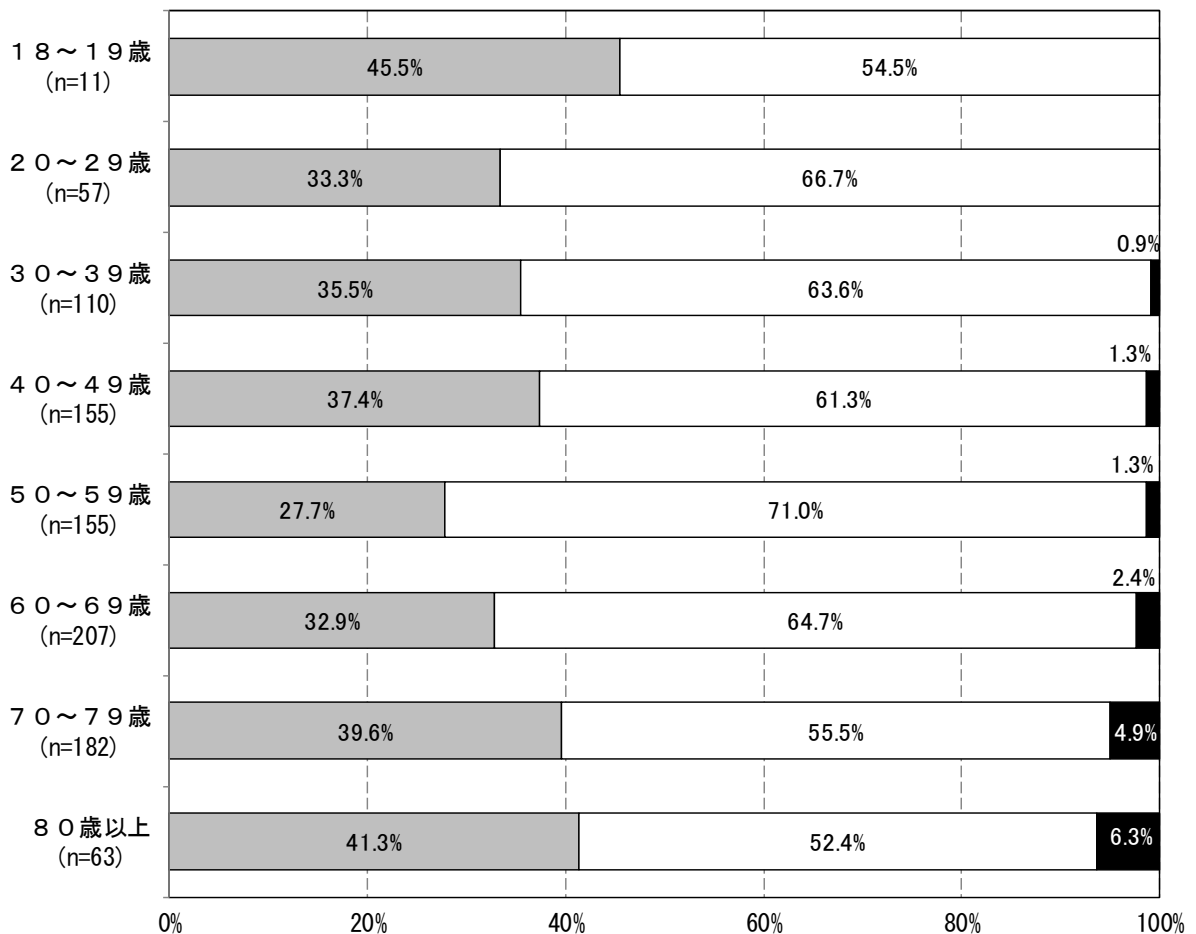
感震ブレーカーの認知度について、「はい」と回答された方の割合は35.0%、「いいえ」と回答された方の割合は62.4%となった。

年代別で見ると、いずれの年代も「いいえ」が半数を超えている。

<全体>



<年代別>



## 問29-1 感震ブレーカーの設置状況

問29-1 問29で「1. はい」と回答された方のみお答えください。感震ブレーカーを設置していますか？

1. 設置している

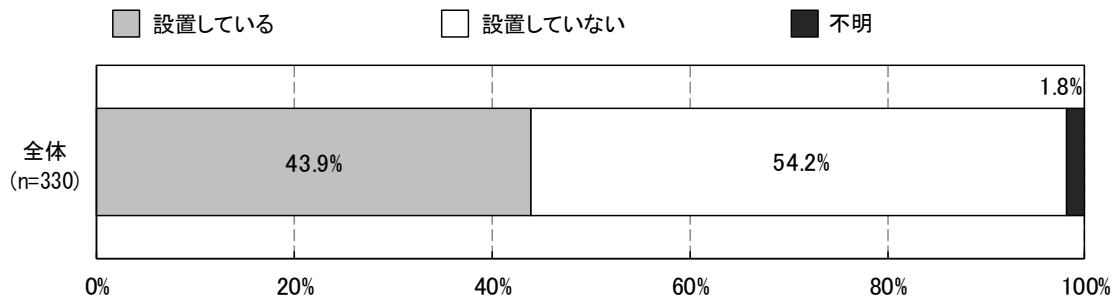
2. 設置していない

感震ブレーカーの設置状況について、「設置している」と回答された方の割合は43.9%、「設置していない」は54.2%となった。

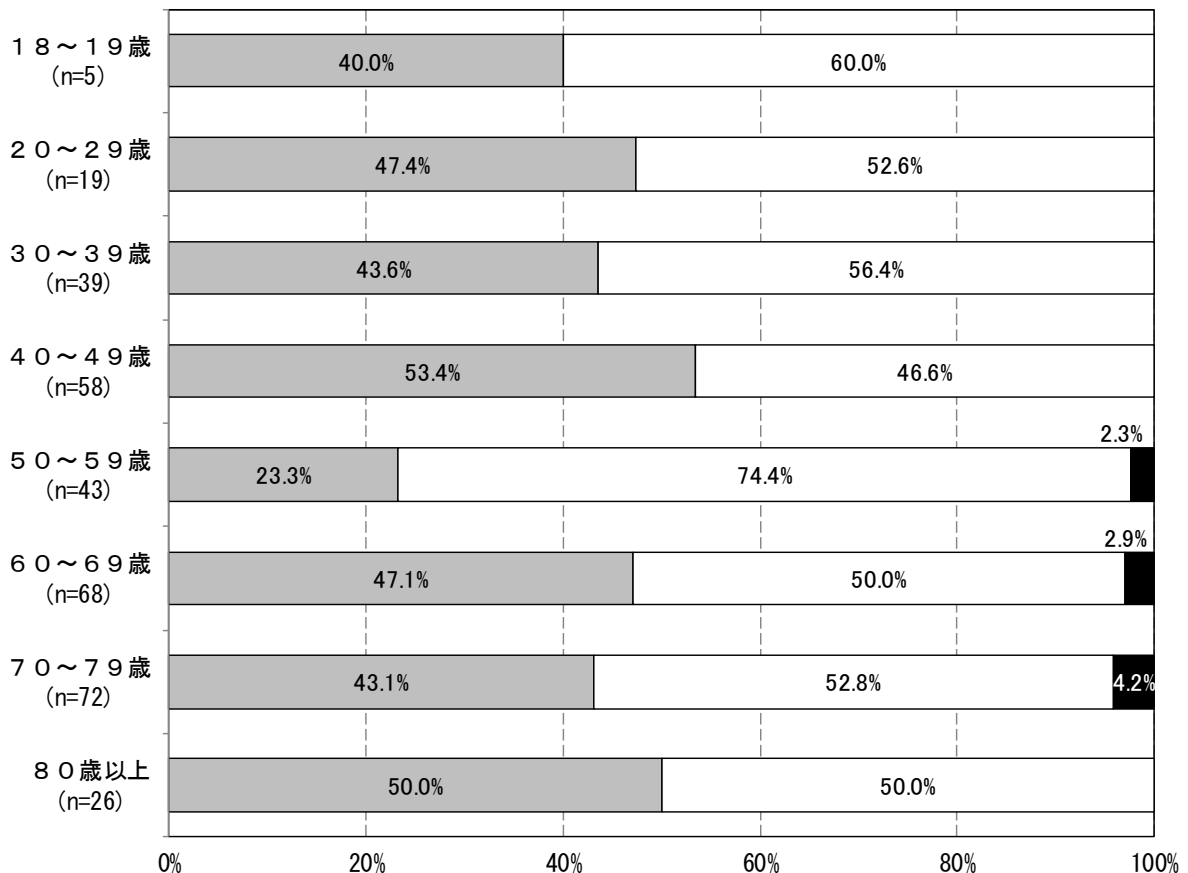
年代別では、「設置している」と回答された方の割合が最も高かったのは「40～49歳」でその割合は53.4%となった。また、最も低かった年代は「50～59歳」(23.3%)となり、年代により大きな差異が見られた。

地域別では、「設置している」と回答された方の割合が最も低かったのは、「河北部」(26.3%)であった。

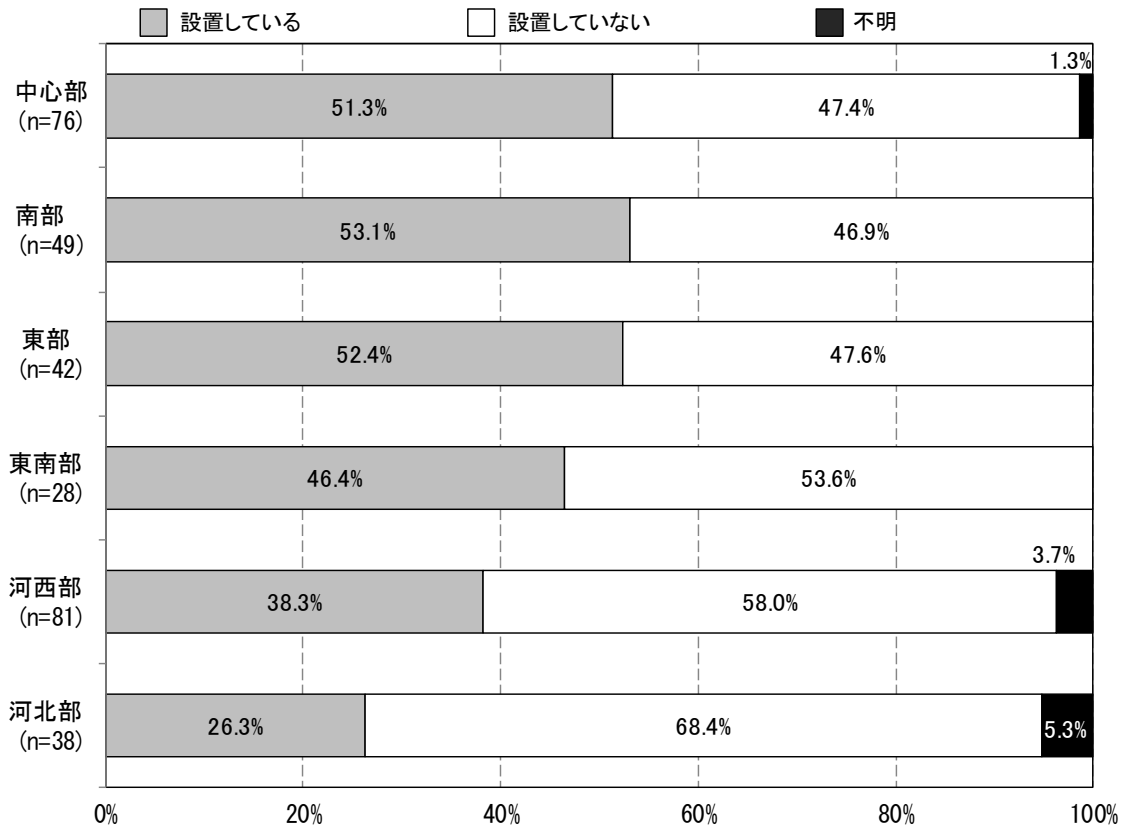
<全体>



<年代別>



<地域別>



## 問29-2 感震ブレイカー設置の希望状況

問29-2 問29で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。感震ブレイカーを設置してみたいと思いますか？

1. 設置したい

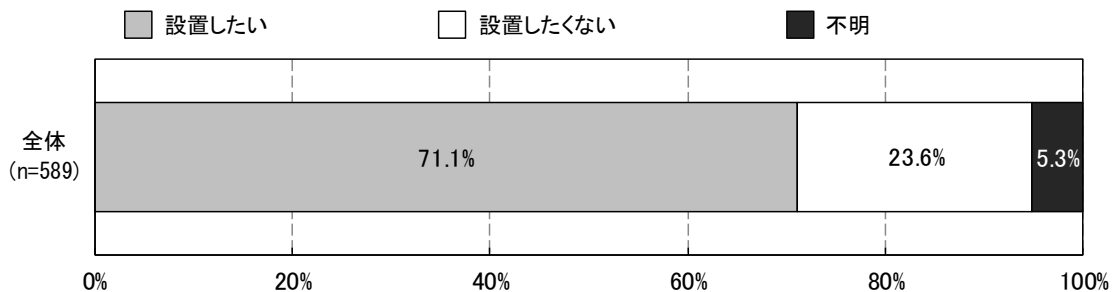
2. 設置したくない

感震ブレイカーを設置したいかどうかについて、全体では「設置したい」と回答された方の割合は71.1%、「設置したくない」と回答された方の割合は23.6%となった。

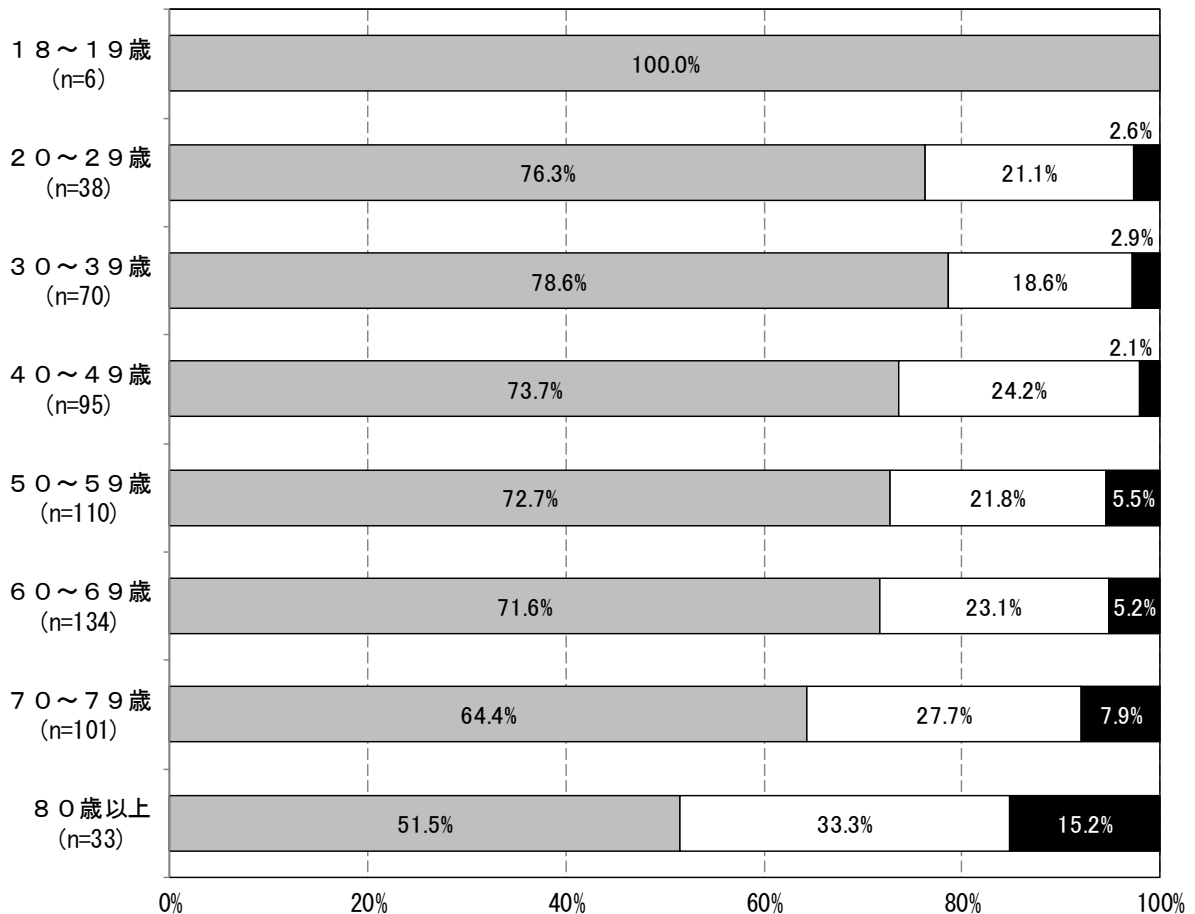
年代別では、18～69歳の各年代で「設置したい」と回答された方の割合は70%を超えたが、70歳以上の年代においては他の年代より低い傾向が見られた。

地域別では、「設置したい」と回答された方の割合が最も高かったのは「河北部」でその割合は83.5%となった。それ以外の地区では、65.2%～71.0%となった。「河北部」のみ「設置したい」と考える方の割合が高い結果となった。

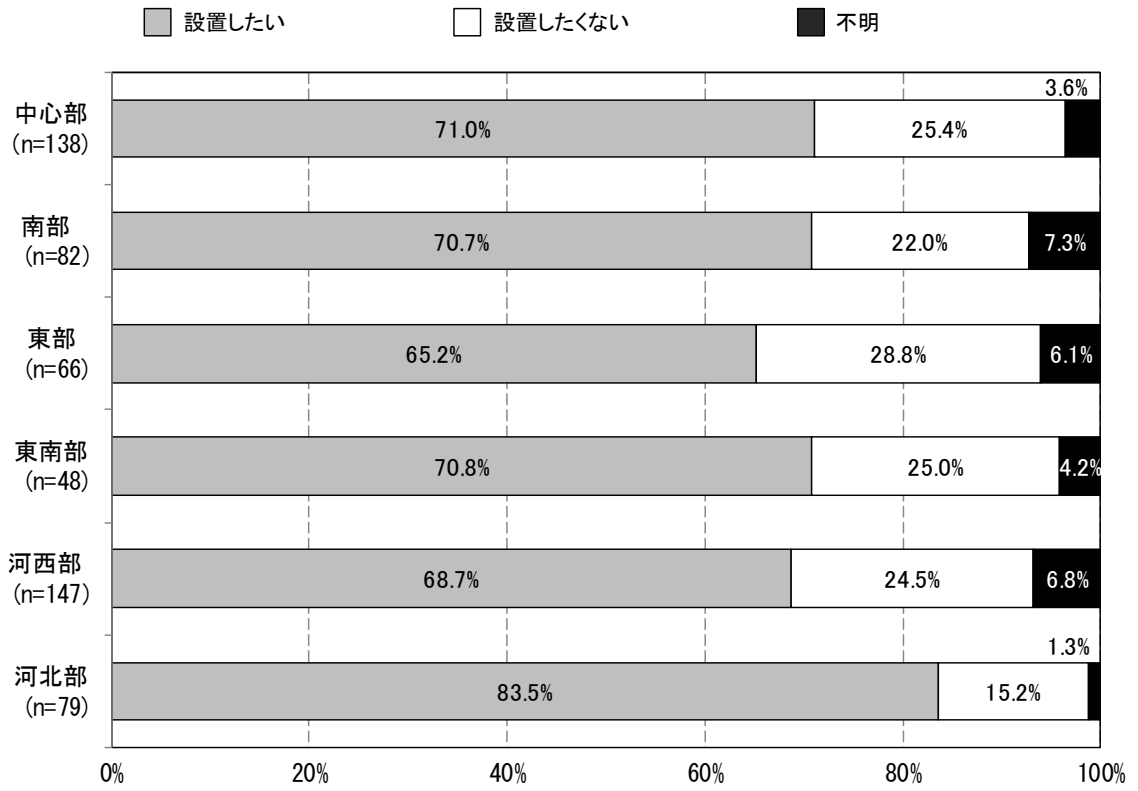
<全体>



<年代別>



<地域別>



問29-3 感震ブレイカー未設置または設置したくない理由

問29-3 問29-1で「2. 設置していない」または、問29-2で「2. 設置したくない」と回答された方のみお答えください。感震ブレイカーを設置していない又は設置したくない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

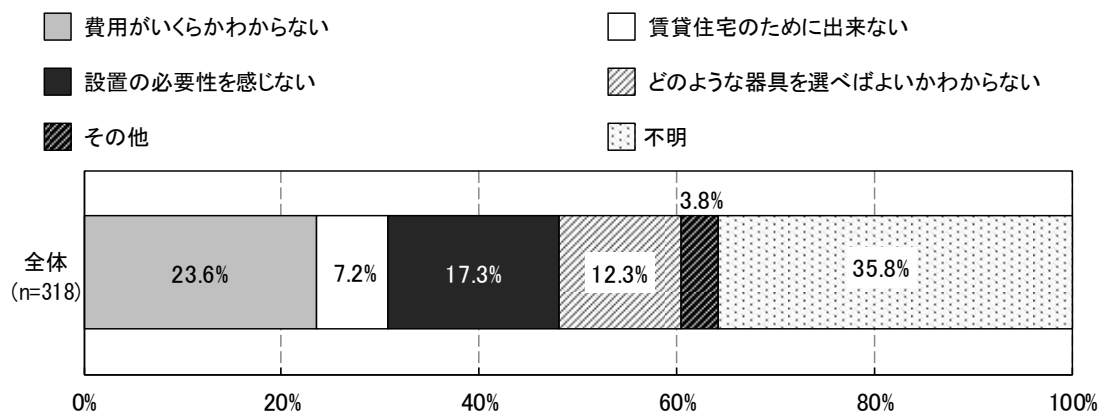
1. 費用がいくらかわからない
2. 賃貸住宅のために出来ない
3. 設置の必要性を感じない
4. どのような器具を選べばよいかわからない
5. その他

感震ブレイカー未設置または設置したくない理由について、全体で最も多かった回答が「費用がいくらかわからない」でその割合は23.6%となった。次いで、「設置の必要性を感じない」(17.3%)、「どのような器具を選べばよいかわからない」(12.3%)と続いた。

年代別では、「費用がいくらかわからない」と回答された方の割合が最も多かったのが「40～49歳」(40.0%)となった。また、「設置の必要性を感じない」と回答された方の割合が最も多かったのが「60～69歳」(26.2%)となった。

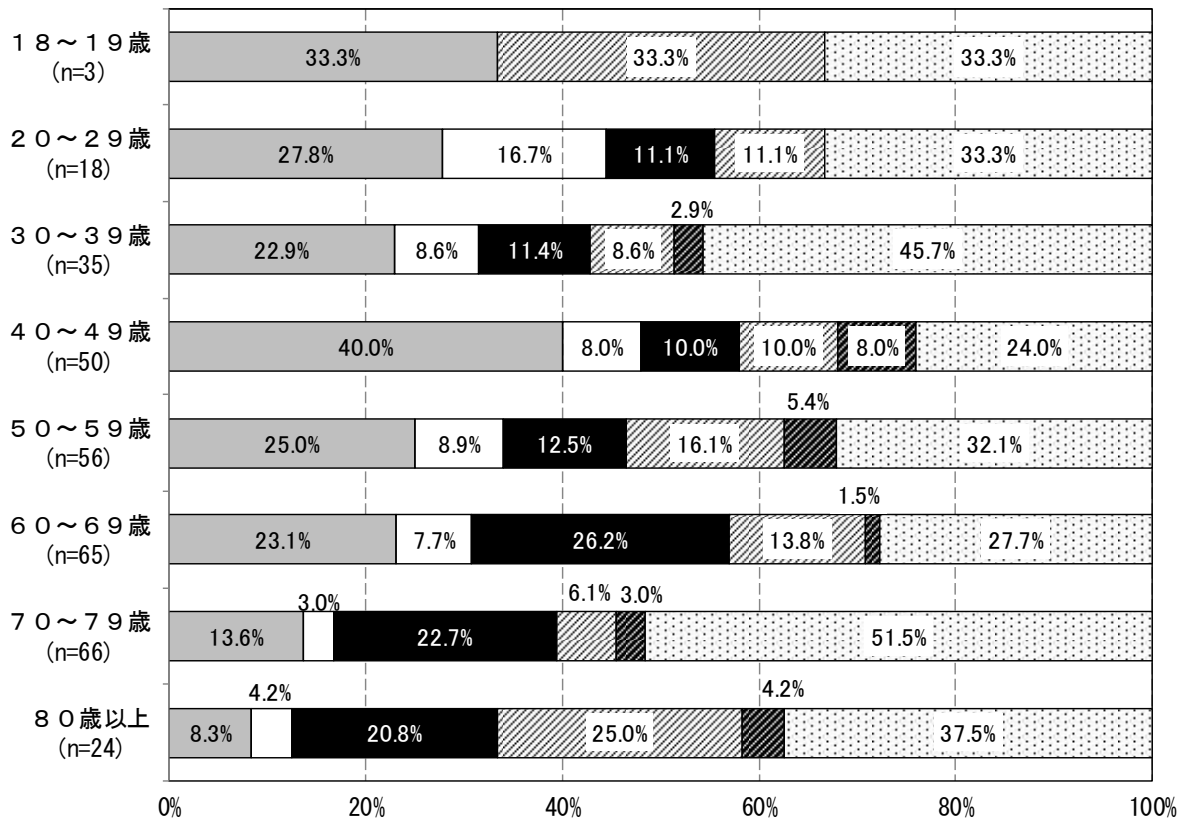
地域別では、「費用がいくらかわからない」と回答された方の割合が最も多かった地域は「東部」(33.3%)となった。また、「設置の必要性を感じない」と回答された方の割合が最も多かった地域が「南部」(29.3%)となった。

<全体>

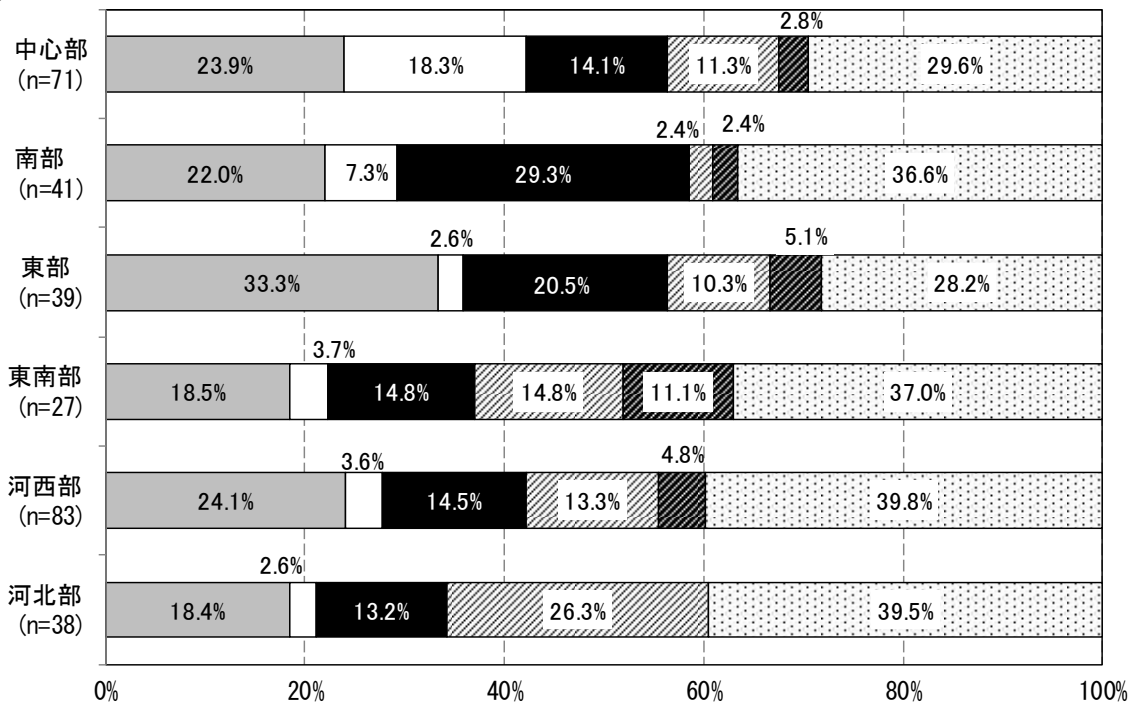




<年代別>



<地域別>



その他：「感震ブレーカーの性能がわからない」、「電気が止まることによる機器への影響」など

### 問30 防災訓練の参加経験

問30 あなたは、市や地域が実施する防災訓練に参加したことがありますか？

1. はい

2. いいえ

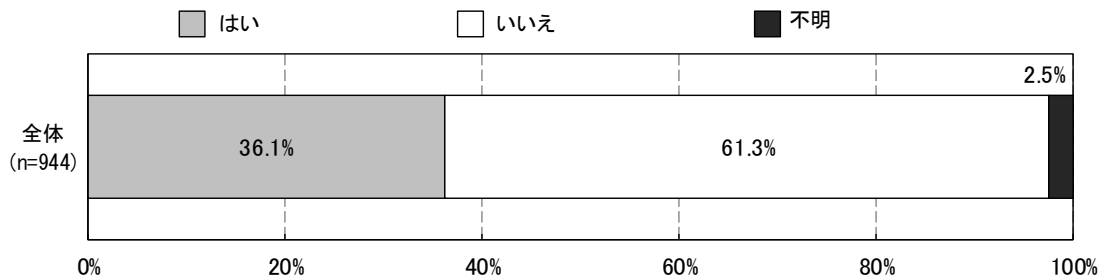
防災訓練の参加経験について、「はい」と回答された方の割合は36.1%、「いいえ」は61.3%となった。

男女別では、男性で「はい」と回答された方の割合は42.2%、女性は31.1%となり、男性のほうが防災訓練により参加している傾向が見られた。

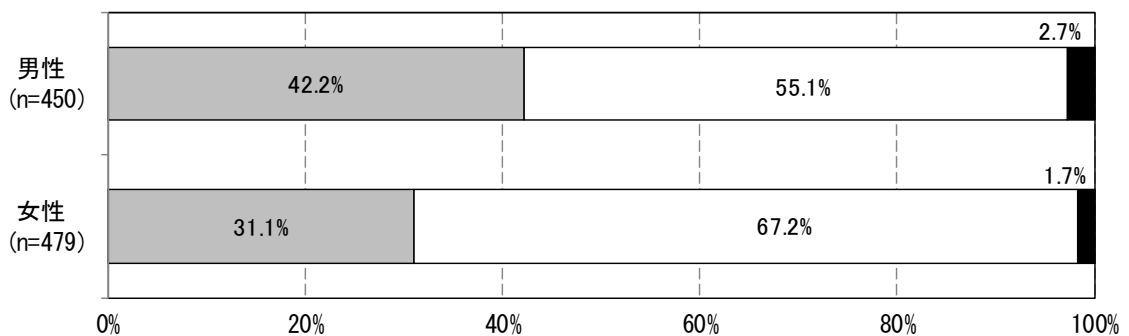
年代別では、「はい」と回答された方の割合が最も高い世代は「60～69歳」で割合は47.3%となった。また、割合が最も低い世代は「30～39歳」(20.9%)となった。

地域別では、「はい」と回答された方の割合が最も高い地域は「東部」の41.1%であった。また、最も低い地域は「河北部」の32.5%であった。

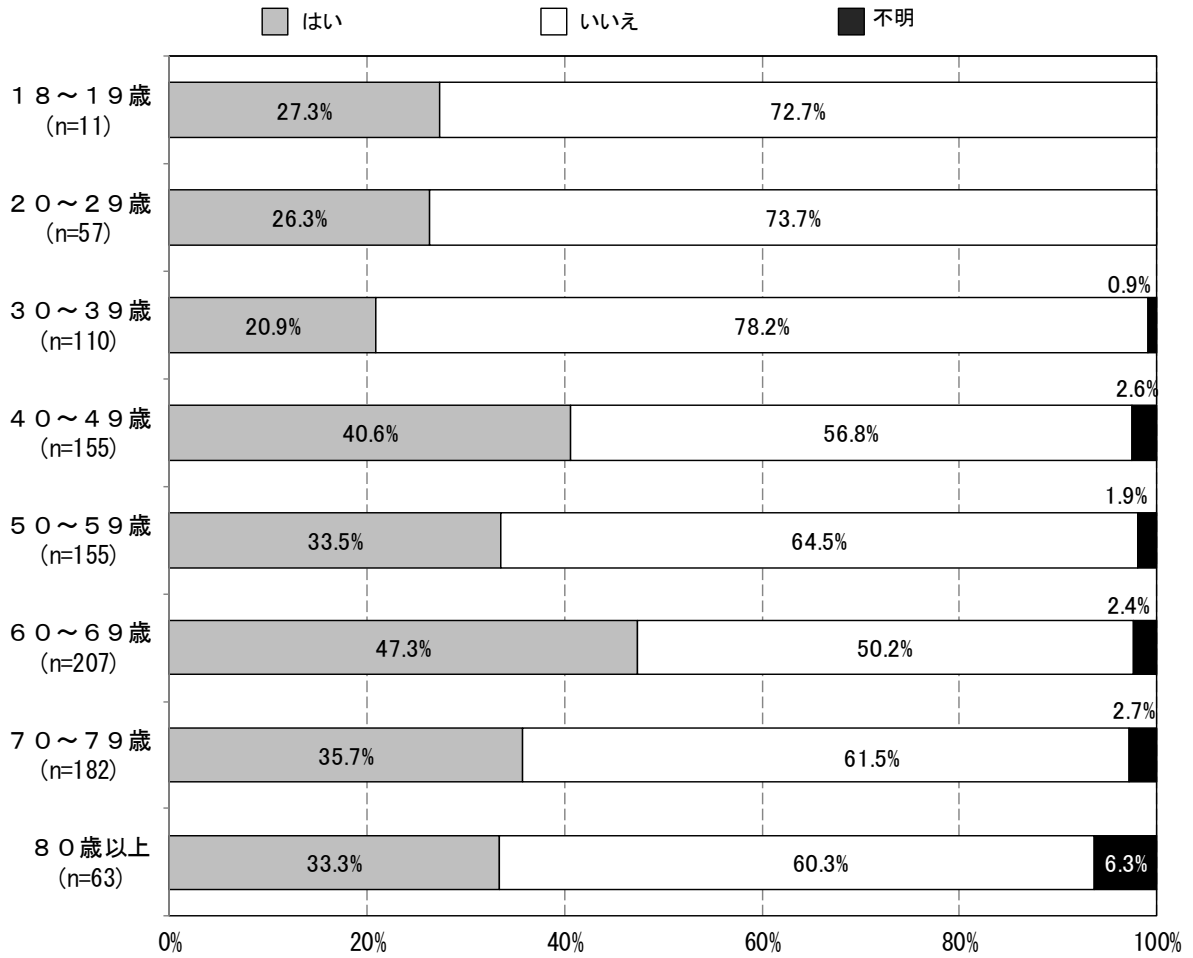
<全体>



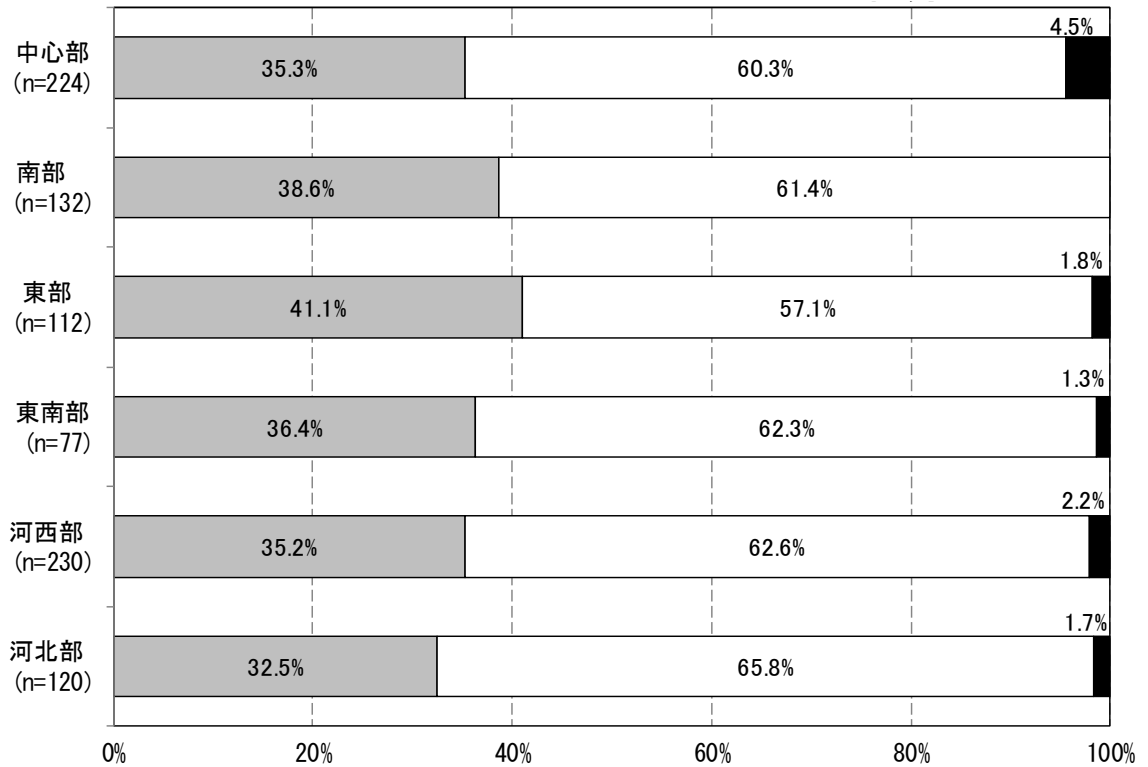
<男女別>



<年代別>



<地域別>



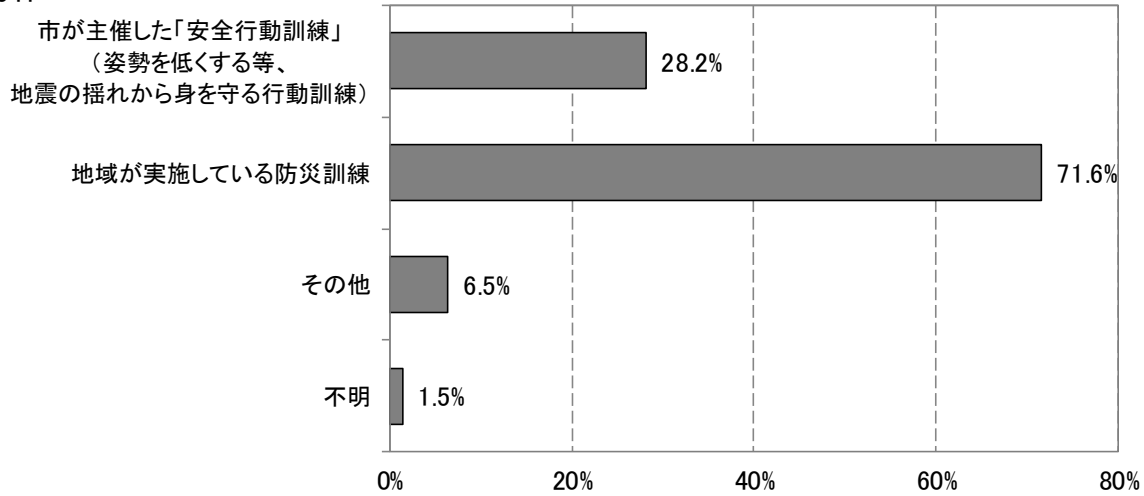
### 問30-1 訓練の内容

問30-1 問30で「1. はい」と回答された方のみお答えください。どのような訓練に参加されましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 市が主催した「安全行動訓練」（姿勢を低くする等、地震の揺れから身を守る行動訓練）
2. 地域が実施している防災訓練
3. その他

訓練の内容として、最も多い回答が「地域が実施している防災訓練」で割合は71.6%となった。次いで、「市が主催した「安全行動訓練」（姿勢を低くする等、地震の揺れから身を守る行動訓練）」(28.2%)と続いた。

n=341



その他：「会社の避難訓練」、「自治会・近所の避難訓練」など

### 問30-2 防災訓練に参加しなかった理由

問30-2 問30で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。防災訓練に参加されなかった理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があったから
2. 以前に参加したことがあり内容が分かっているから
3. 防災訓練があったことを知らなかった
4. その他

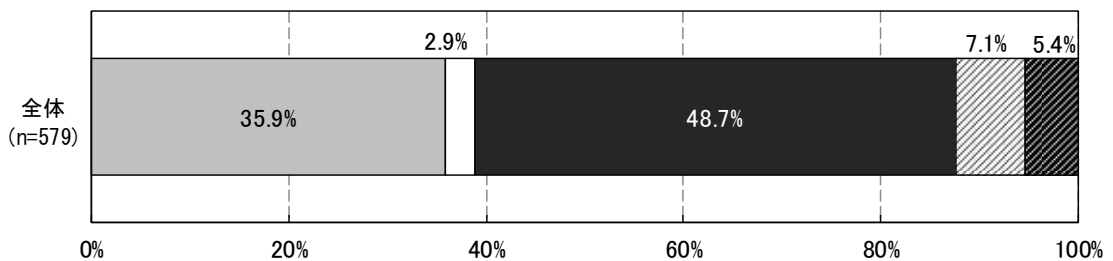
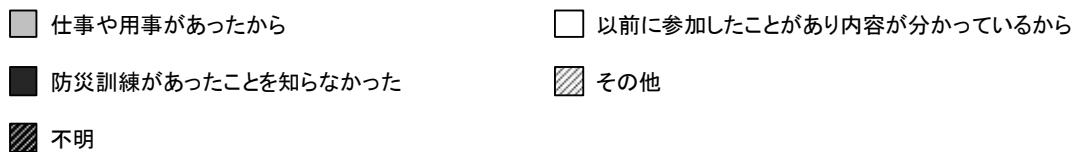
防災訓練に参加しなかった理由として、最も多かった回答が「防災訓練があったことを知らなかった」(48.7%)で、次いで「仕事や用事があったから」(35.9%)となった。

男女別では大きな差異は見られなかった。

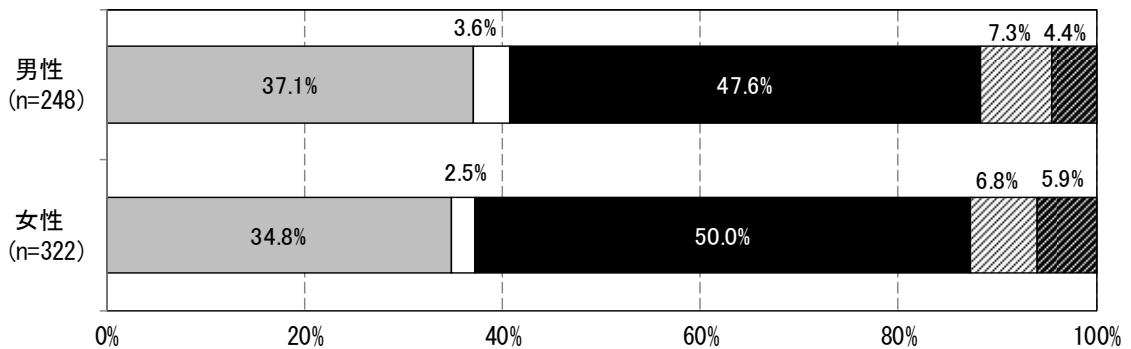
年代別では、「仕事や用事があったから」と回答された割合が最も高かった年代は「40～49歳」(44.3%)であった。次いで、「50～59歳」(44.0%)、「60～69歳」(39.4%)と続いた。

地域別では、「仕事や用事があったから」と回答された割合が最も高かった地域は「東南部」(45.8%)、「防災訓練があったことを知らなかった」と回答された割合が最も高かったのは「東部」(62.5%)となった。

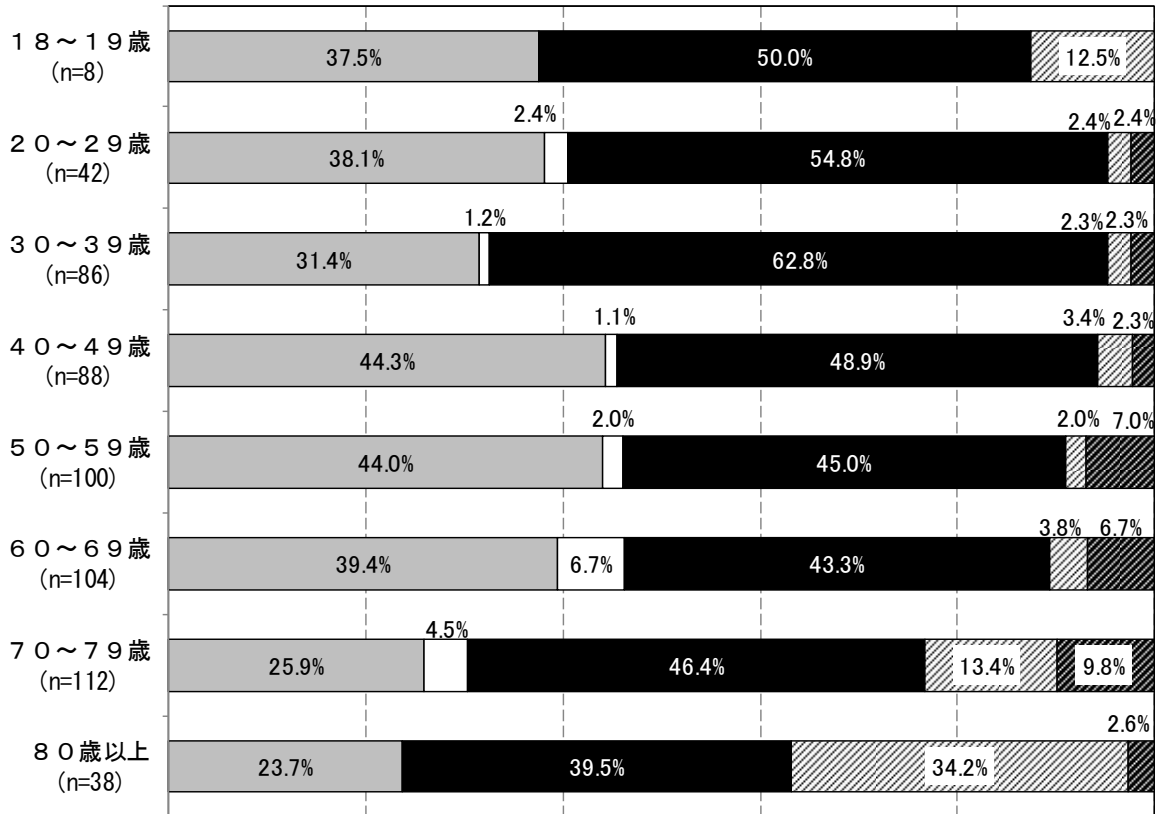
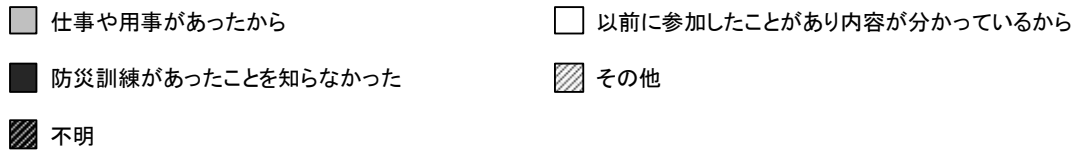
#### <全体>



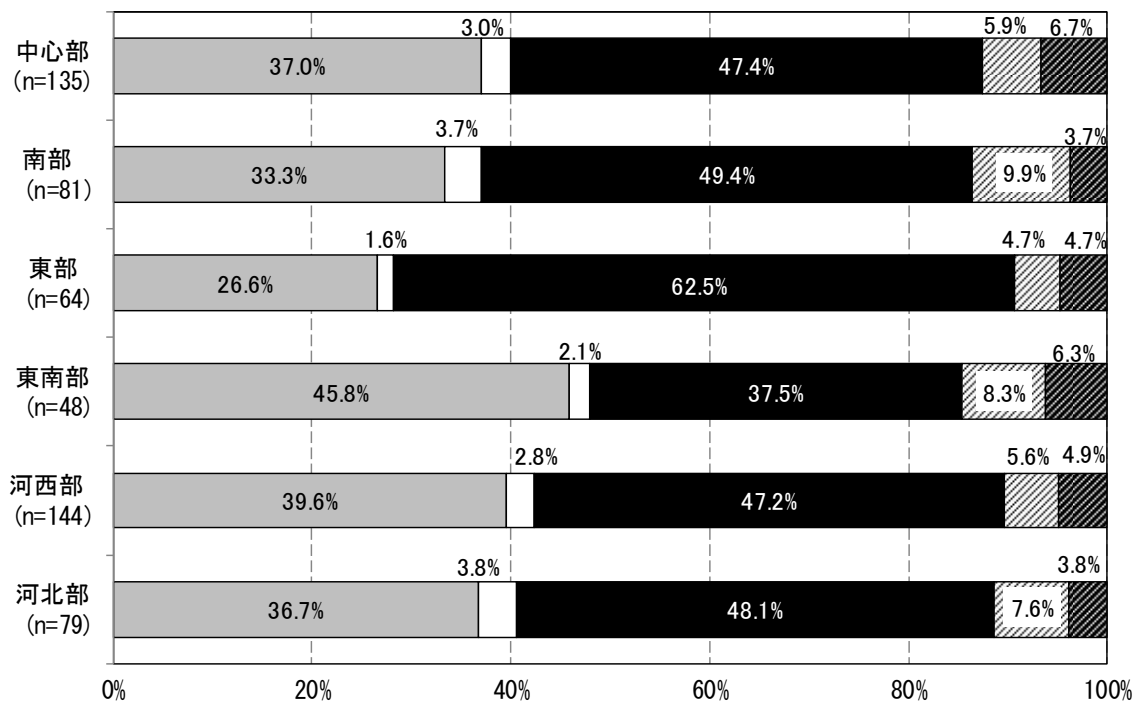
#### <男女別>



<年代別>



<地域別>



その他：「身体的に困難」、「高齢のため」など

### 問3 1 防災訓練参加への意向

問3 1 あなたは、市や地域が実施する防災訓練があれば参加しますか？

1. はい

2. いいえ

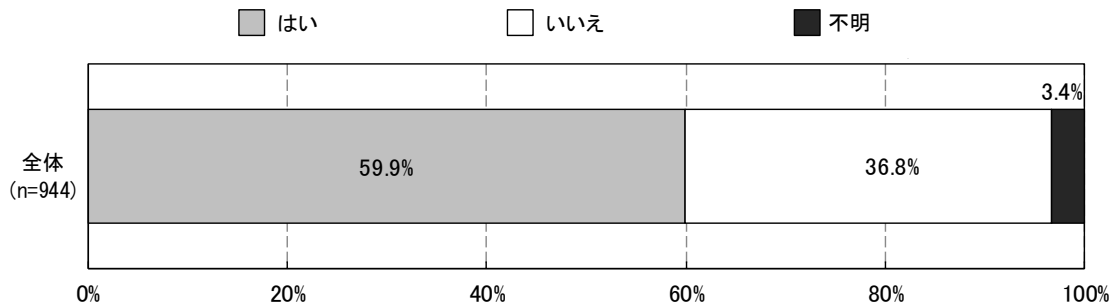
防災訓練参加への意向として、「はい」と回答された方の割合は 59.9%、「いいえ」は 36.8%となった。

男女別では大きな差異は見られなかった。

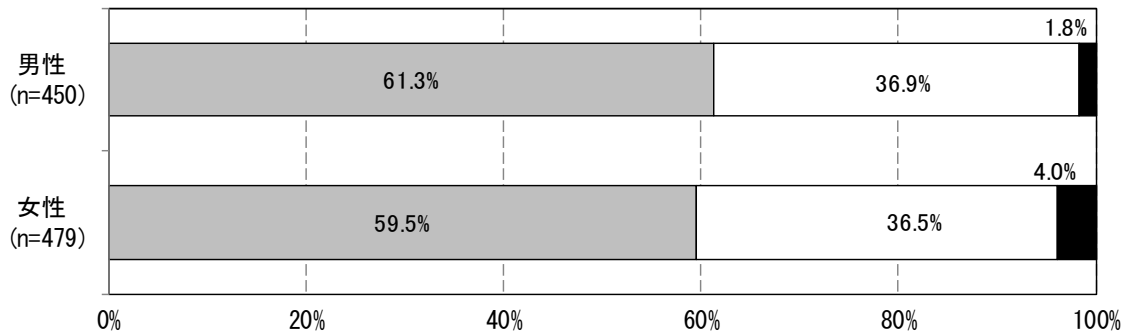
年代別では、「はい」と回答された方の割合が最も高かった年代は「60～69歳」（70.5%）となった。

地域別では、いずれの地域においても「はい」が半数を超えている。

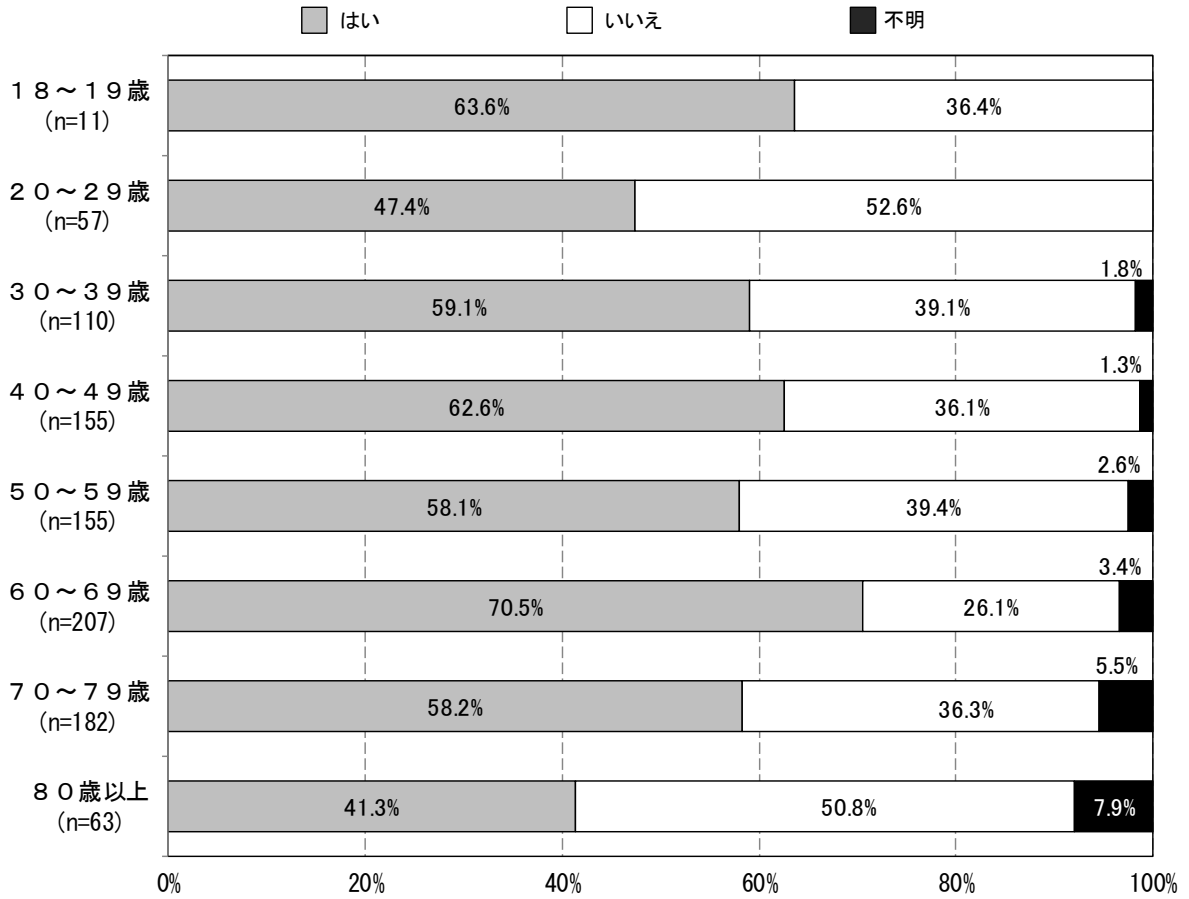
<全体>



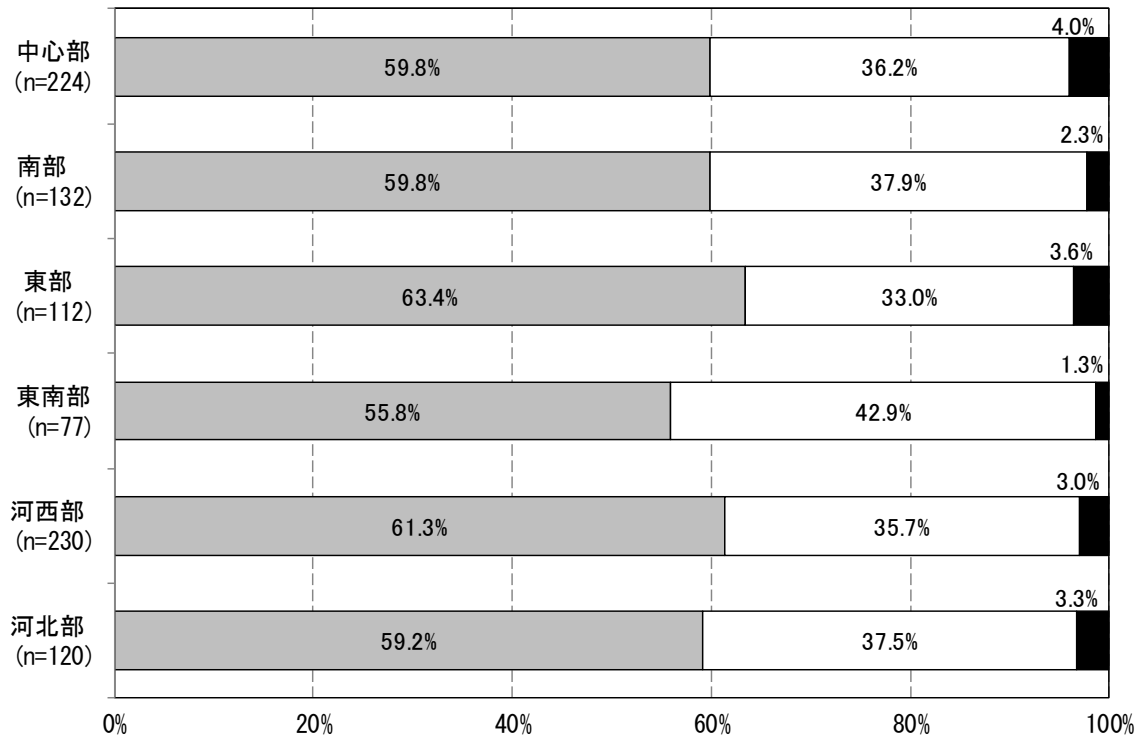
<男女別>



<年代別>



<地域別>





### 問31-1 防災訓練に参加しない理由

問31-1 問31で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。参加されない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があり忙しいから
2. 参加しなくても、いざとなれば対応できると思うから
3. 災害時に役に立つと思わないから
4. 参加したいが、体調が悪く参加できない
5. その他

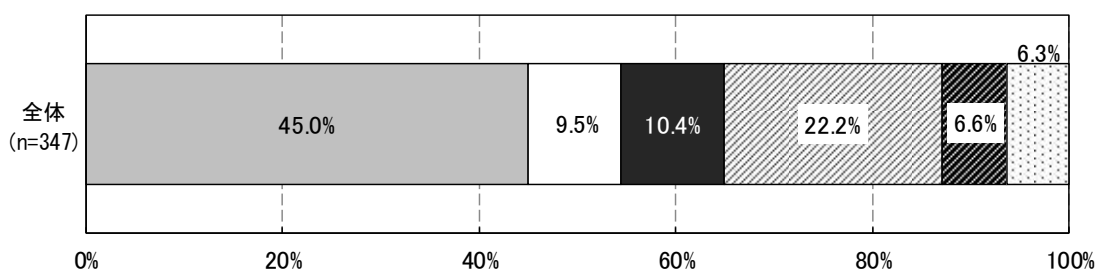
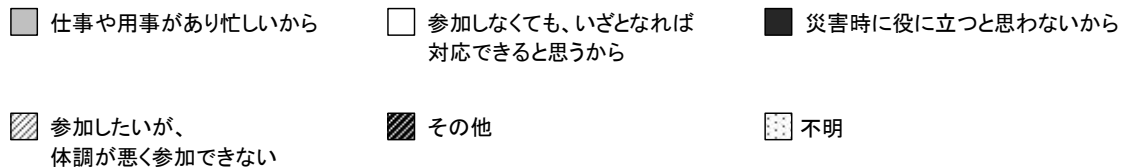
防災訓練に参加しない理由として最も多かったのが「仕事や用事があり忙しいから」(45.0%)であった。次いで、「参加したいが、体調が悪く参加できない」(22.2%)、「災害時に役に立つと思わないから」(10.4%)と続いた。

男女別では、男性で「参加しなくても、いざとなれば対応できると思うから」を回答された方の割合は15.1%、女性は4.6%となった。

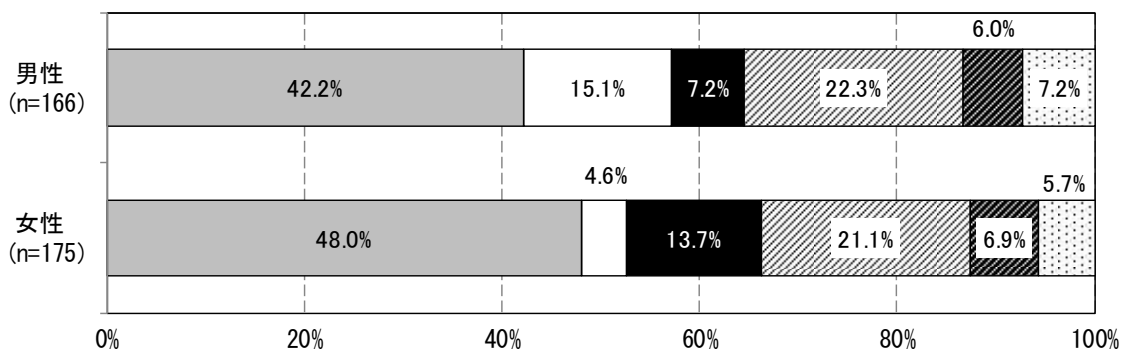
年代別では、「参加したいが、体調が悪く参加できない」と回答された方の割合が最も高かったのは「80歳以上」(81.3%)となった。また、「仕事や用事があり忙しいから」と回答された方の割合が最も高かったのは「40～49歳」(75.0%)であった。

地域別では、「仕事や用事があり忙しいから」と回答された方の割合が最も高かったのは「河北部」(55.6%)であった。また、「参加したいが、体調が悪く参加できない」と回答された方の割合が最も高かったのは「中心部」(29.6%)であった。

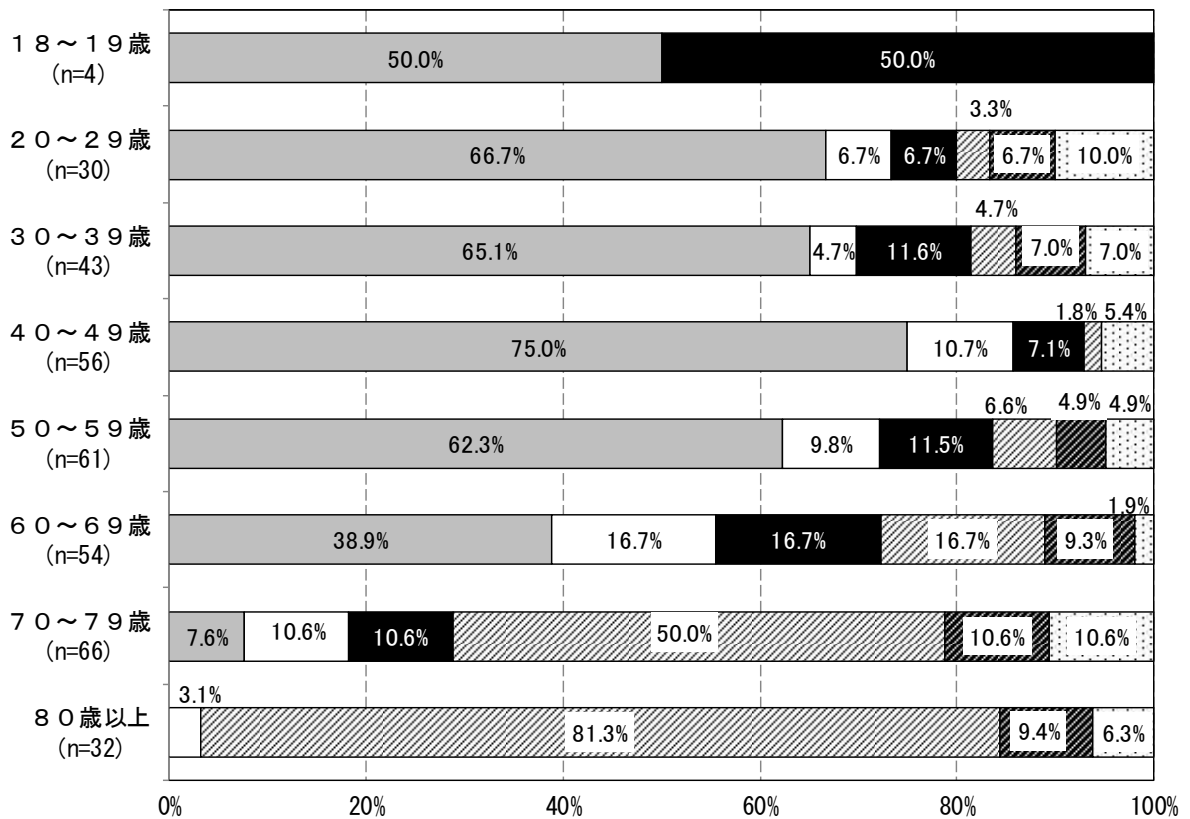
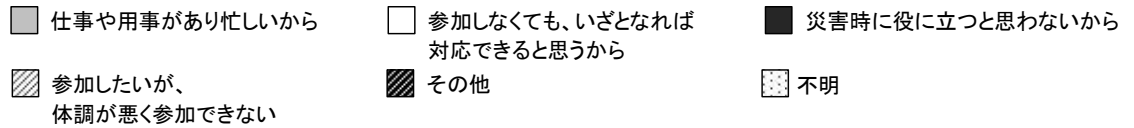
<全体>



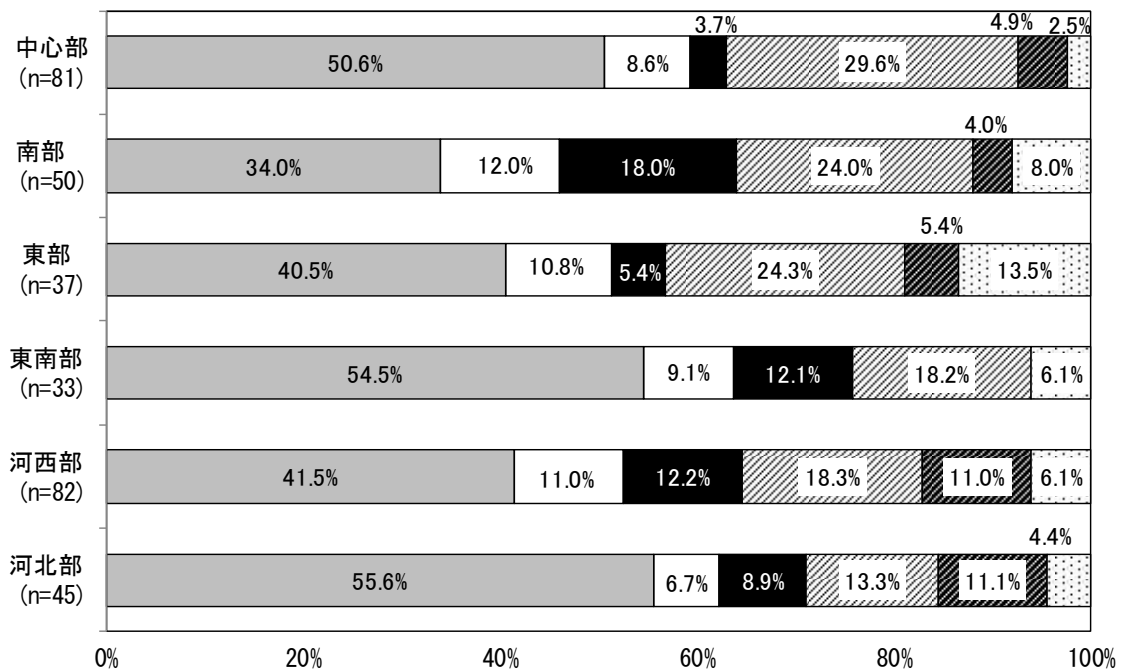
<男女別>



<年代別>



<地域別>



その他：「高齢のため」、「別の避難訓練に参加」など

### 問3 2 避難場所の認識状況

#### 問3 2 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

1. 知っている

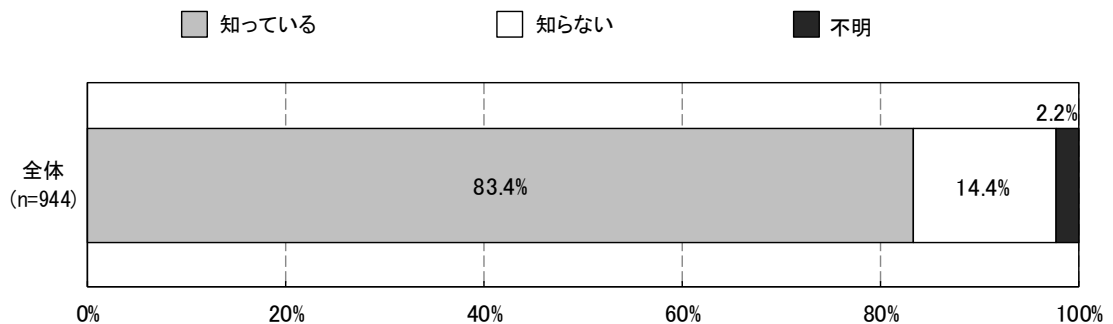
2. 知らない

避難場所を知っているかどうかについて「知っている」と回答された方の割合が83.4%、「知らない」が14.4%となった。

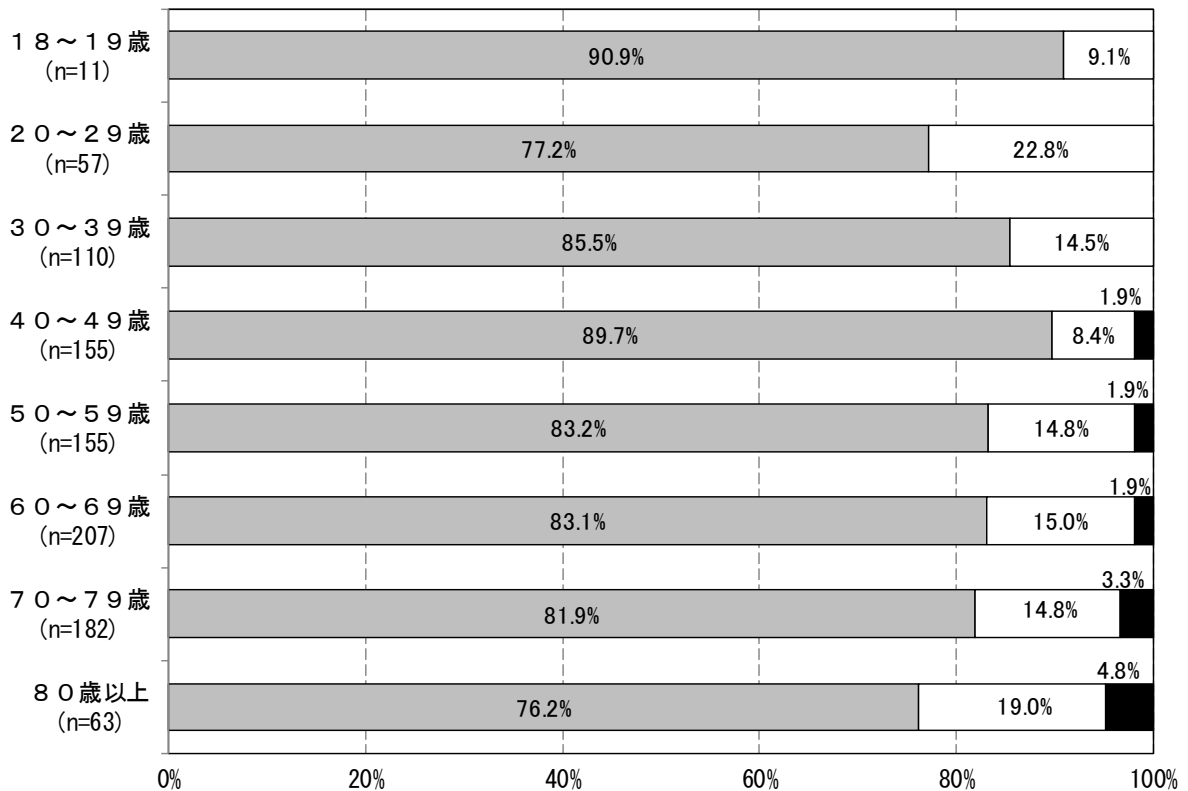
年代別では、「知っている」と回答された方が最も高かった年代は「18～19歳」で90.9%、次いで「40～49歳」（89.7%）、「30～39歳」（85.5%）と続いた。

地域別では、「知っている」と回答された方が最も高かった地域は「東部」（92.9%）で、次いで「東南部」（90.9%）、「南部」（87.9%）と続いた。

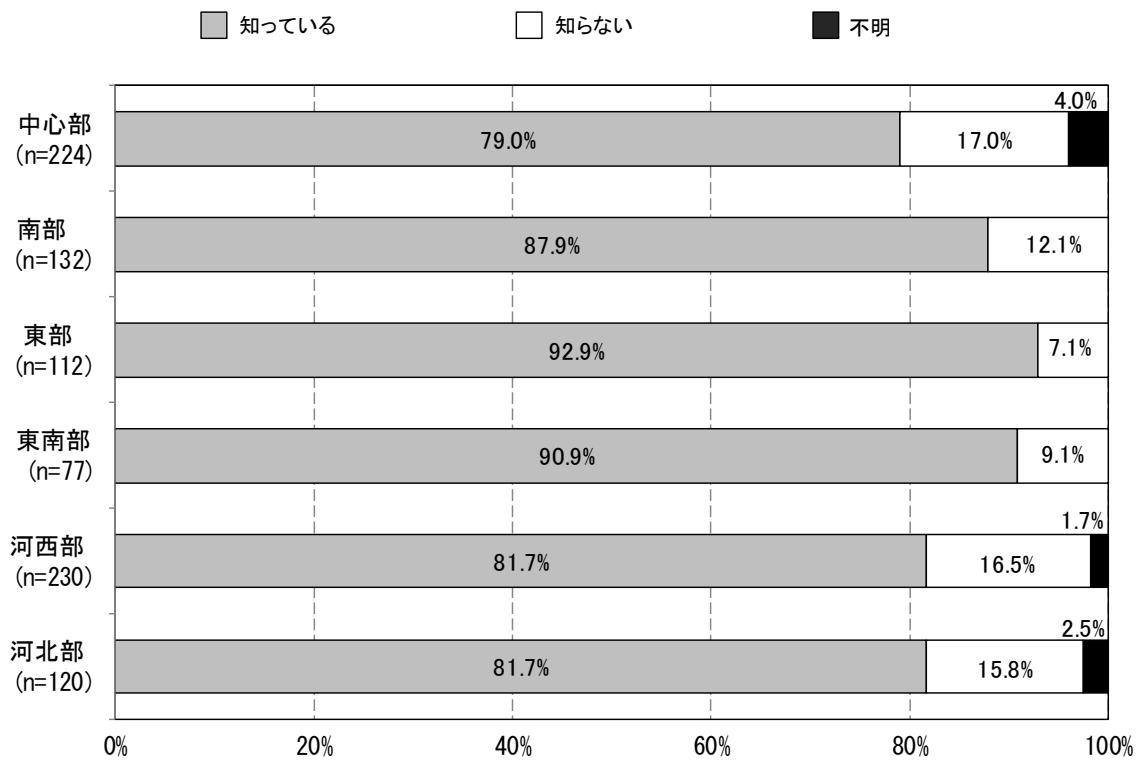
#### <全体>



#### <年代別>



<地域別>



### 問33 災害時の避難場所や避難経路について

問33 あなたは、災害から身を守るために、どの避難場所に逃げるか、どんな経路を通して逃げるか、日頃から調べたり、話し合ったりしていますか？

1. している

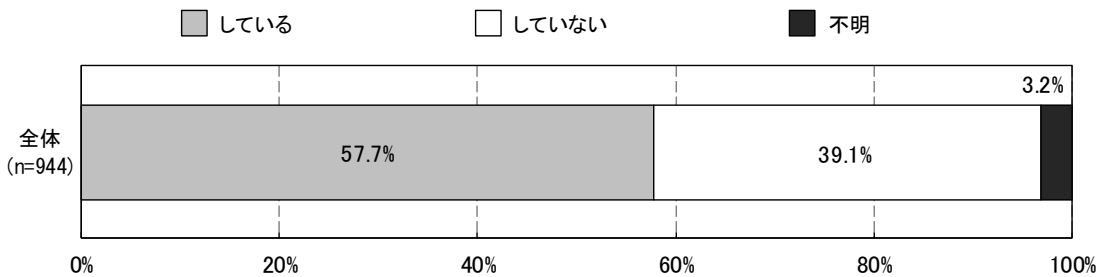
2. していない

避難場所や避難経路を日頃から調べたり、話し合ったりしているかどうかについて、「している」と回答された方の割合が57.7%、「していない」が39.1%となった。

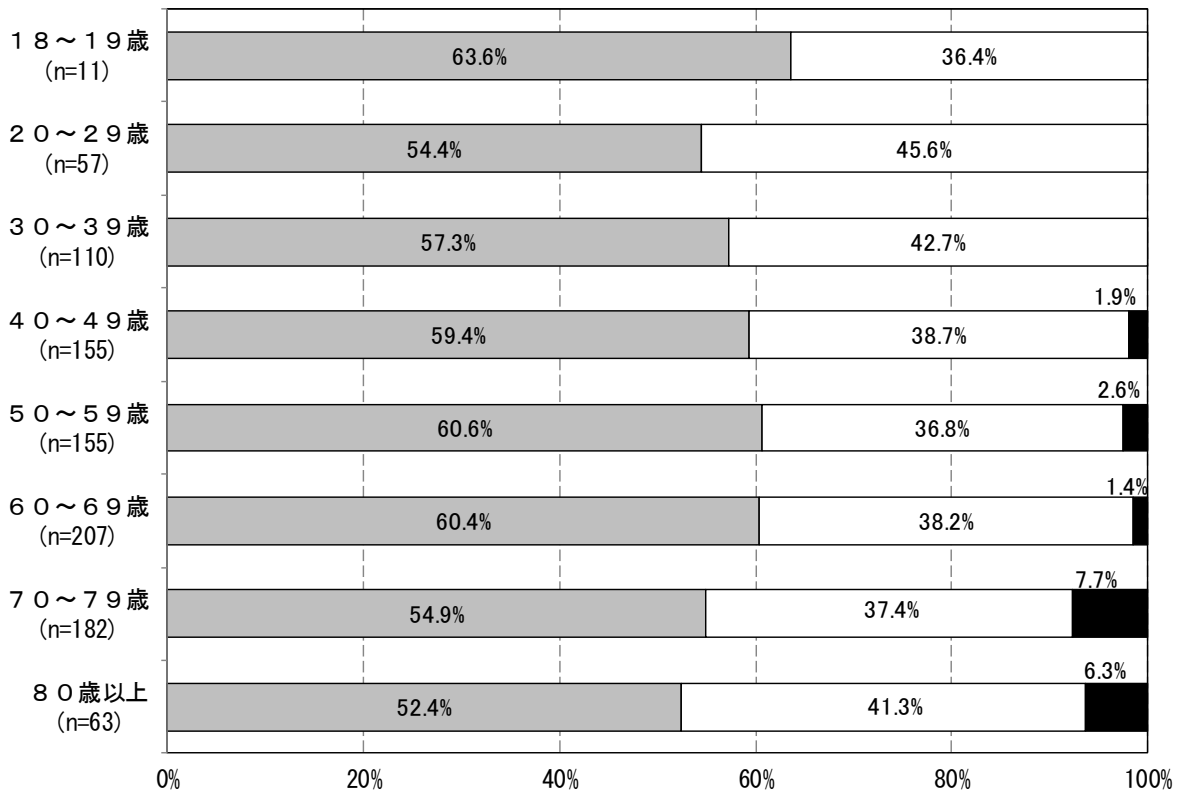
年代別では、「している」と回答された方がどの年代も半数を超えている。

地域別では、「している」と回答された方が最も高かった地域は「南部」(64.4%)で、次いで「東南部」(59.7%)、「中心部」(59.4%)と続いた。

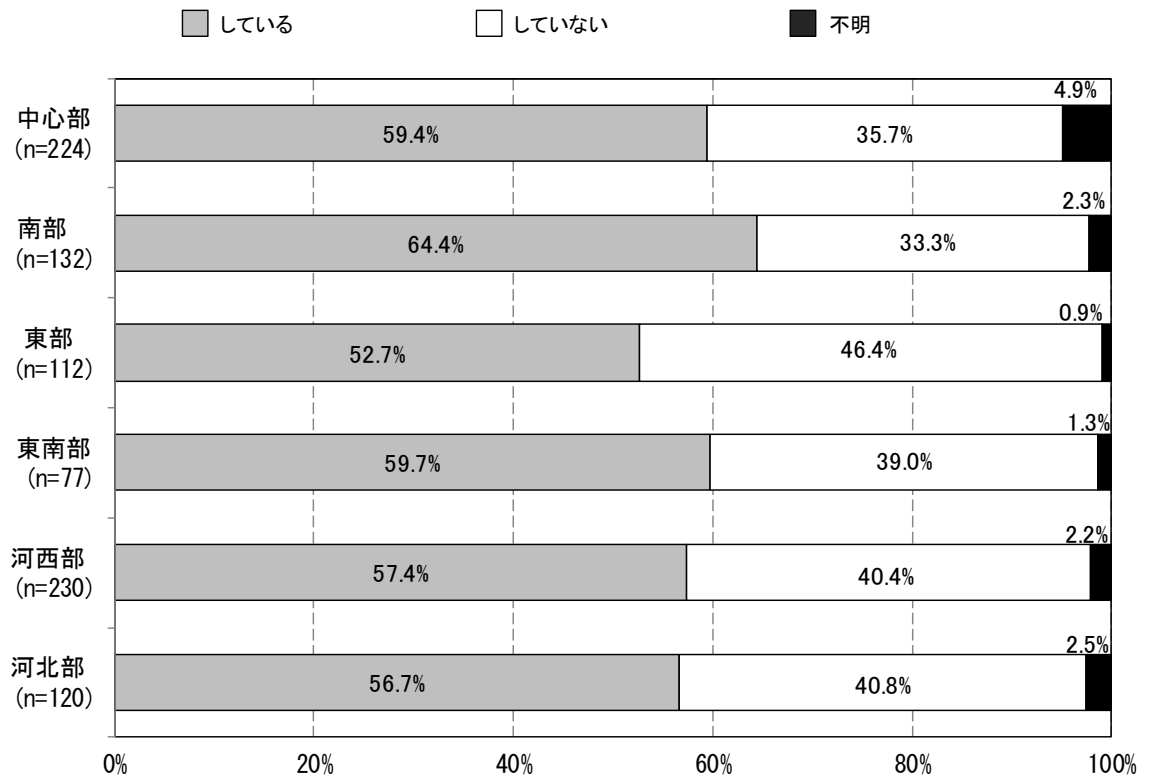
#### <全体>



#### <年代別>



<地域別>

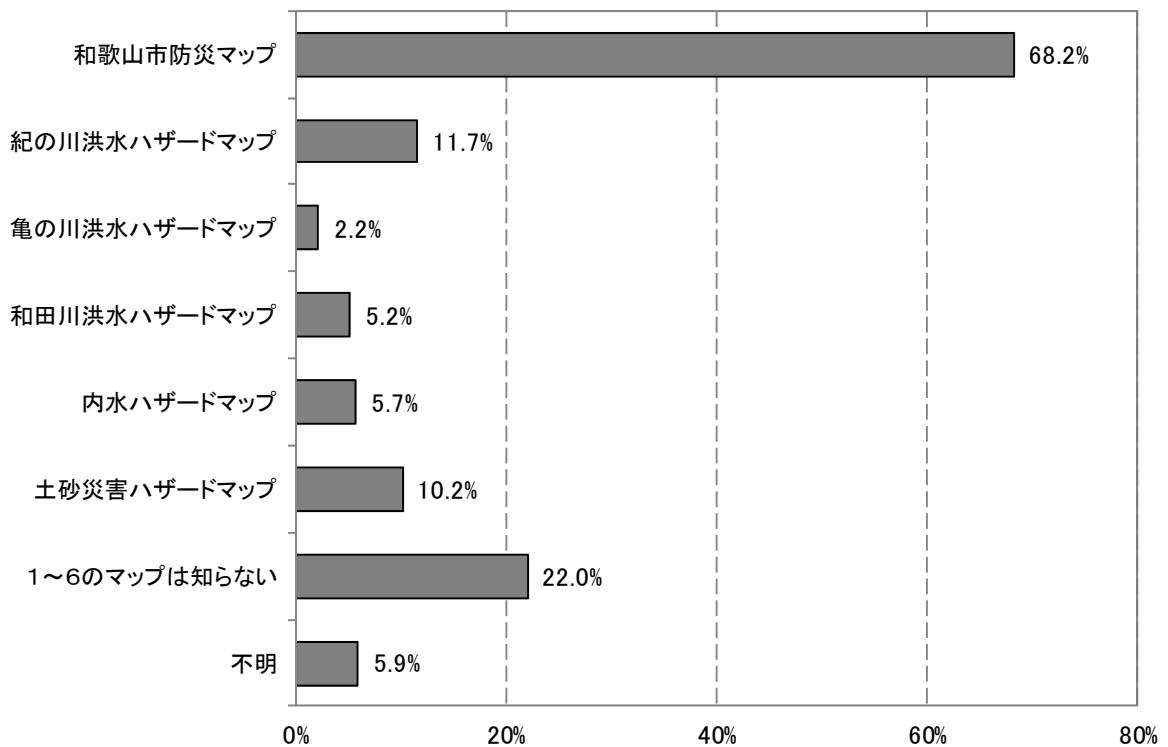


### 問34 ハザードマップの認知度

問34 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 和歌山市防災マップ
2. 紀の川洪水ハザードマップ
3. 亀の川洪水ハザードマップ
4. 和田川洪水ハザードマップ
5. 内水ハザードマップ
6. 土砂災害ハザードマップ
7. 1～6のマップは知らない

和歌山市が作成しているハザードマップの認知度について、認知度の最も高かったのが「和歌山市防災マップ」(68.2%)となった。また、「1～6のマップは知らない」と回答された方も22.0%いる結果となった。

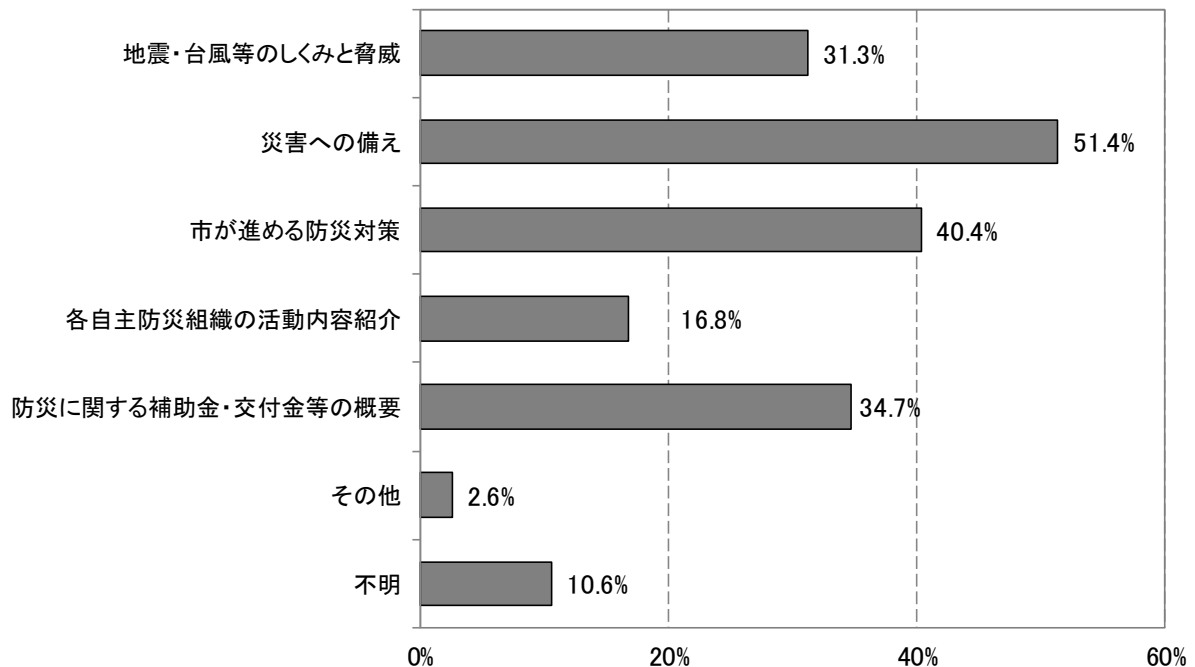


### 問35 必要な防災情報

問35 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 地震・台風等のしくみと脅威
2. 災害への備え
3. 市が進める防災対策
4. 各自主防災組織の活動内容紹介
5. 防災に関する補助金・交付金等の概要
6. その他

市報わかやまや防災ホームページ等に掲載してほしい情報として最も多かったのが、「災害への備え」(51.4%)となった。次いで「市が進める防災対策」(40.4%)、「防災に関する補助金・交付金等の概要」(34.7%)と続いた。



その他：「地域別の避難場所」、「津波の予想到達時間」など



問36 防災行政無線等による伝達状況

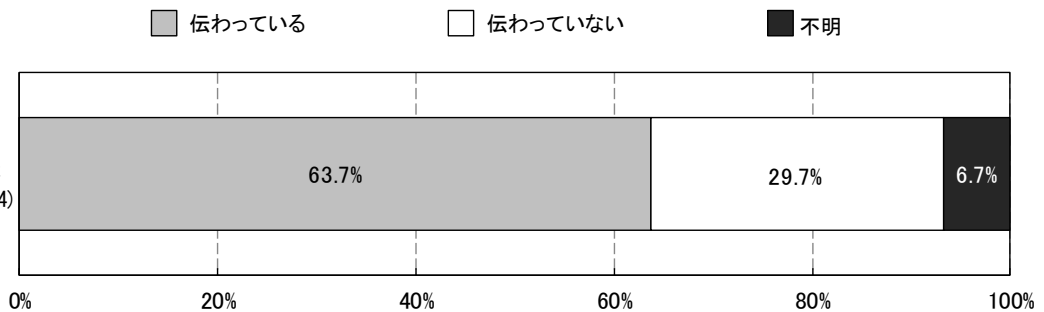
問36 災害発生時や災害が発生するおそれがある時、防災行政無線等によって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

1. 伝わっている
2. 伝わっていない【理由： \_\_\_\_\_】

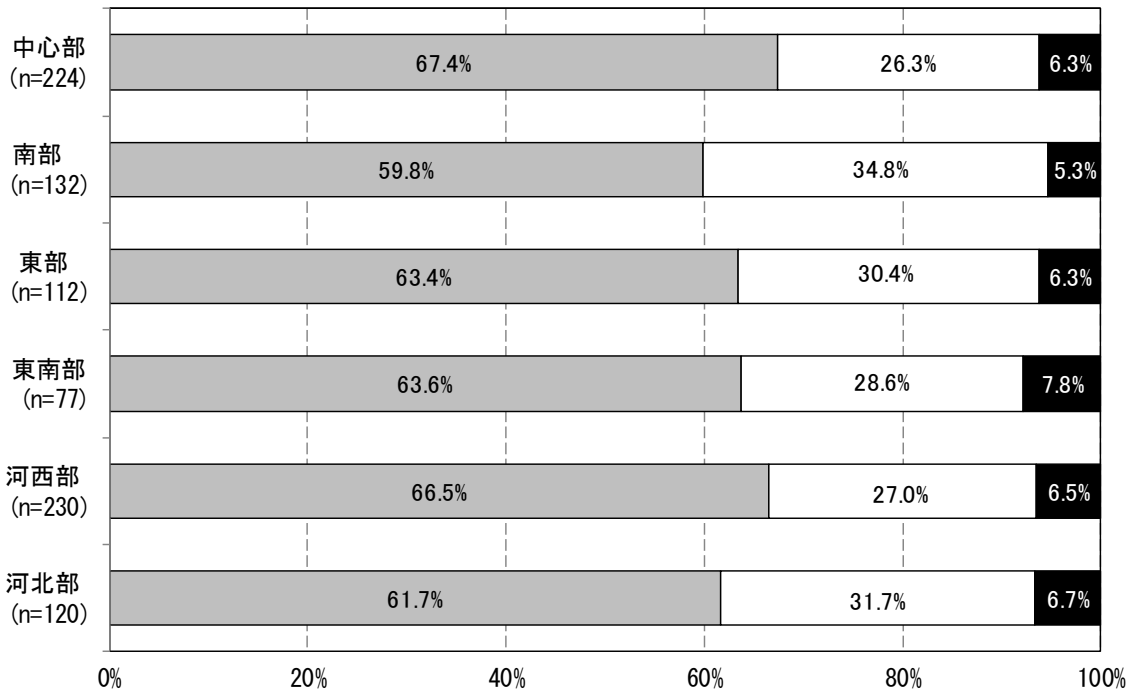
防災行政無線等によって災害に関する情報が「伝わっている」と回答された方の割合は63.7%、「伝わっていない」は29.7%となった。

地域別では、「伝わっている」と回答された方の割合が最も高かったのが「中心部」で67.4%、また、最も低かったのが「南部」の59.8%で、どの地域も60%前後の方が「伝わっている」と回答されている。

<全体>



<地域別>



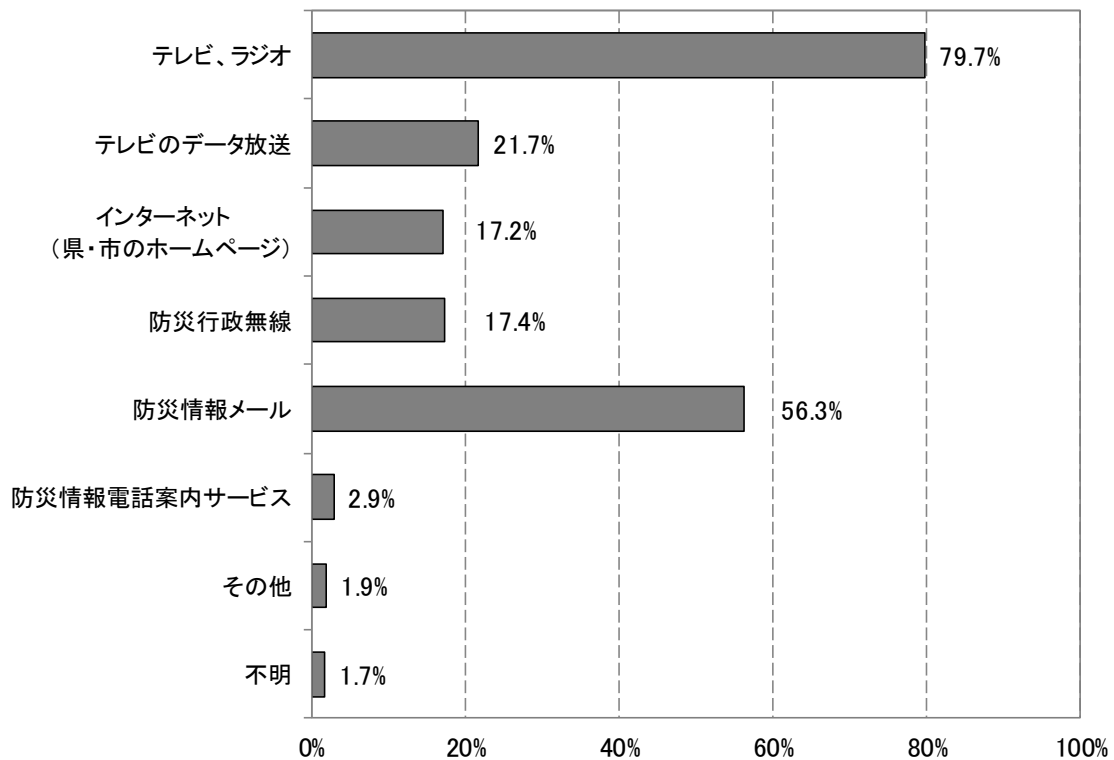
理由：「聞こえない・聞き取りにくい」、「雨風等で聞き取れない」、「音声反響、響く、拡散する」など

### 問37 災害に関する情報を得る手段

問37 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビ、ラジオ
2. テレビのデータ放送
3. インターネット（県・市のホームページ）
4. 防災行政無線
5. 防災情報メール
6. 防災情報電話案内サービス
7. その他

災害に関する情報を得る手段として最も多かったのが「テレビ、ラジオ」で79.7%となった。次いで、「防災情報メール」（56.3%）となり、この二つが他の手段に比べ大きな割合を示した。



その他：「スマホ・携帯電話」、「SNS」など

### 問38 危険なブロック塀等の撤去費用の補助制度の認知状況

問38 あなたは、平成28年度より危険なブロック塀や石塀などを撤去等する場合に、費用の一部を補助する制度があることを知っていますか？

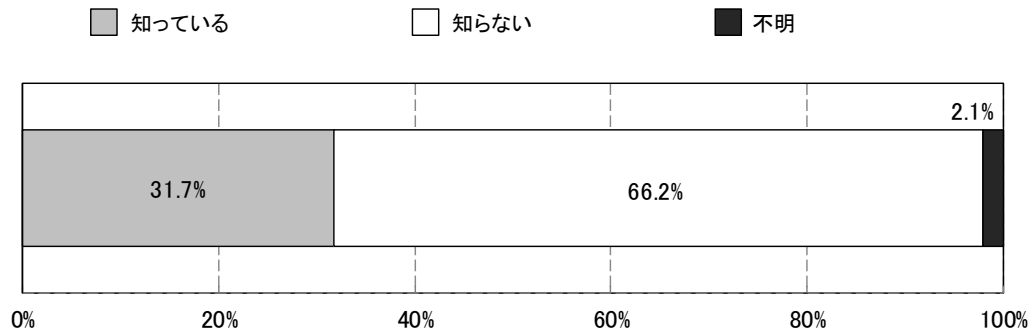
1. 知っている 2. 知らない

危険なブロック塀等の撤去費用の補助制度について、「知っている」と回答された方の割合は31.7%、「知らない」は66.2%となった。

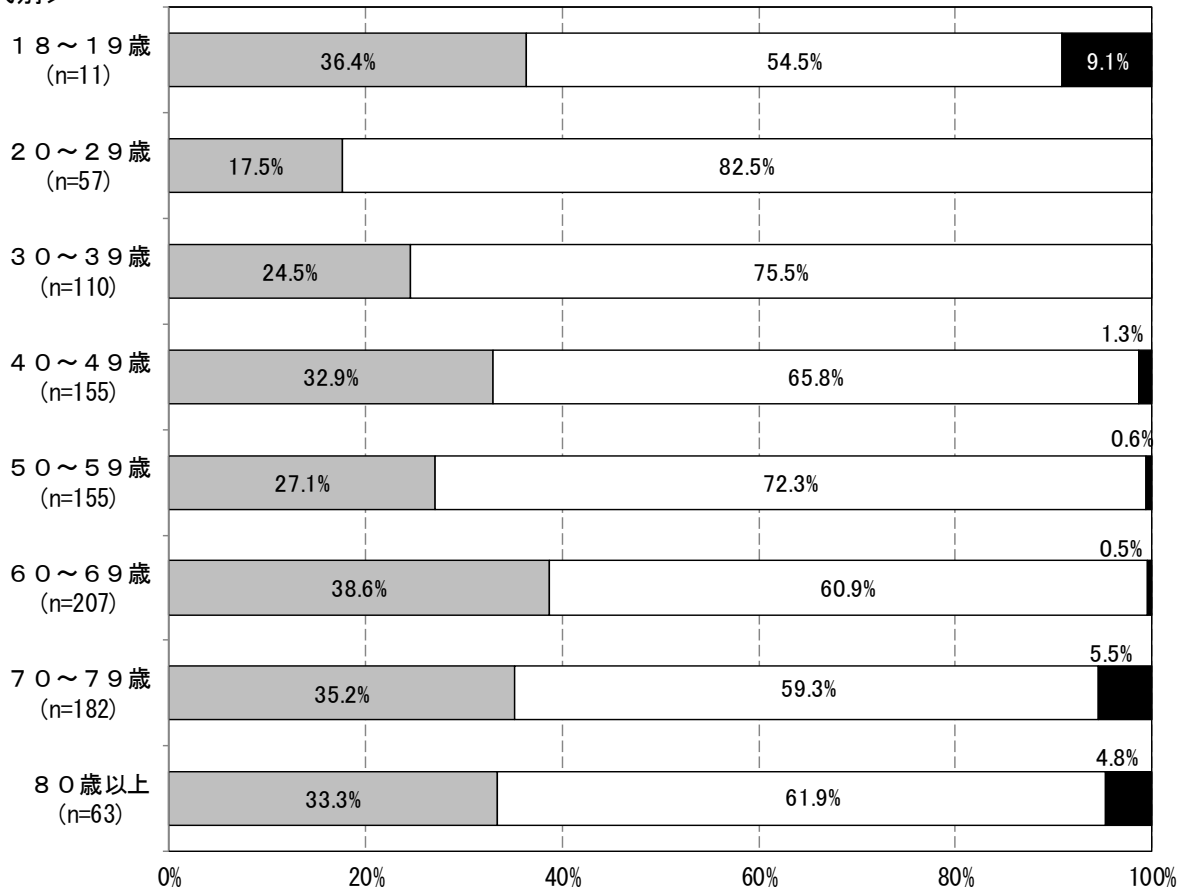
年代別では、「知っている」と回答された方の割合が最も高かったのが「60～69歳」（38.6%）、低かったのが「20～29歳」（17.5%）となった。

地域別では、「知っている」と回答された方の割合が最も高かったのが「東部」（36.6%）、最も低かったのが「河西部」（25.7%）となった。

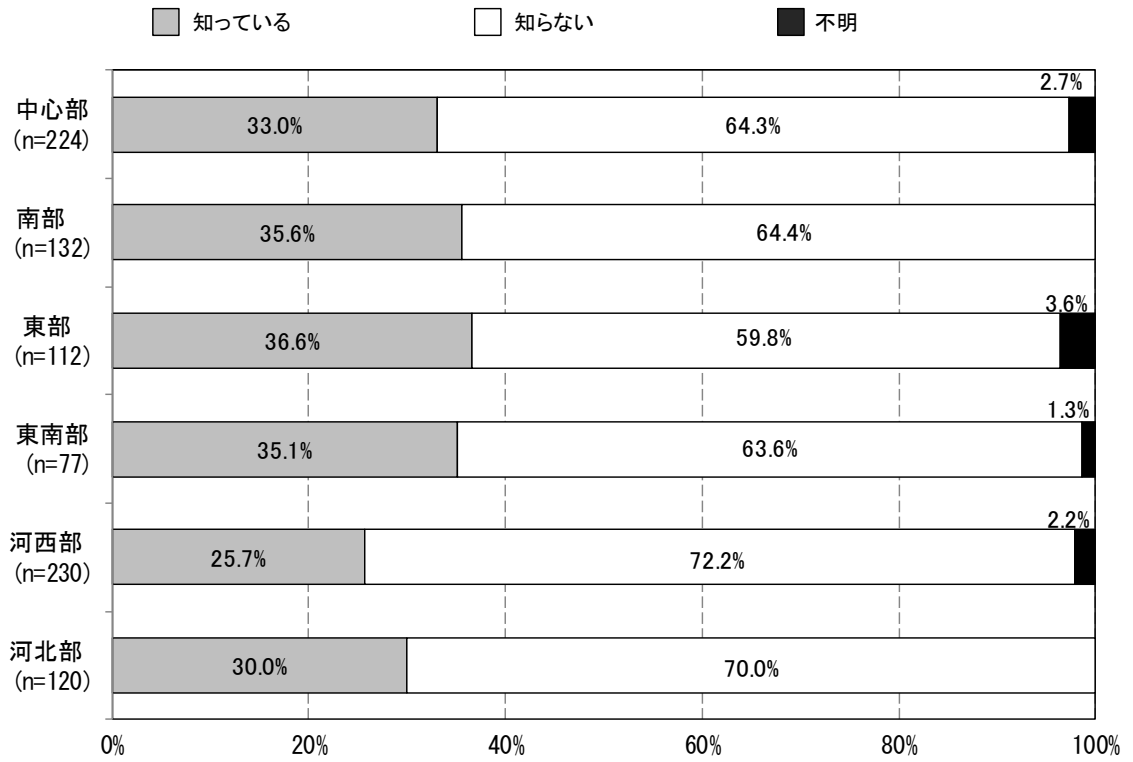
<全体>



<年代別>



<地域別>

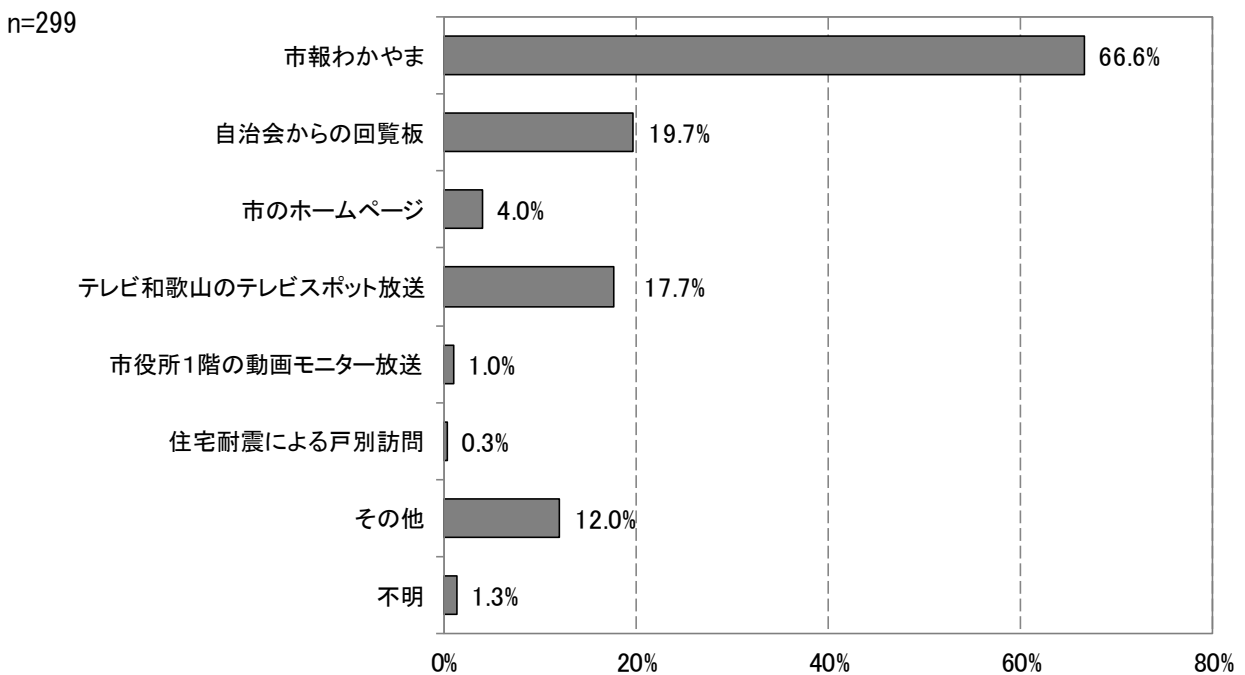


### 問38-1 危険なブロック塀等の撤去費用の補助制度を知った方法

問38-1 問38で「1. 知っている」と回答された方のみお答えください。この補助制度をどのようにして知りましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 市報わかやま
2. 自治会からの回覧板
3. 市のホームページ
4. テレビ和歌山のテレビスポット放送
5. 市役所1階の動画モニター放送
6. 住宅耐震による戸別訪問
7. その他

危険なブロック塀等の撤去費用の補助制度を知った方法として、最も多かったのが「市報わかやま」(66.6%)となった。次いで、「自治会からの回覧板」(19.7%)、「テレビ和歌山のテレビスポット放送」(17.7%)と続いた。



その他：「ラジオ」、「新聞」、「補助制度を利用した人から」など